

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書付き

保証書は裏表紙に付いています。

日立全自動電気洗濯機
型式

エヌダブリュー

エフ

NW-50F



マイページ(日立の家電品お客様サポート)
への登録をおすすめします。

さまざまなサービスをご利用いただけます。

- 家電品の登録・管理
- お役立ち情報
- 安全点検サービス割引
- パーツショップ送料特典
- お知らせ

詳しくはP.55をご覧ください。



日立の家電品
お客様サポート

このたびは日立全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、据付説明書・洗濯機設置時のチェックシート(据付確認書)とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→(P.8~11)をお読みいただき、正しくお使いください。

もくじ

ご使用の前に

各部のなまえ・付属品	4
操作パネルのはたらき	6
安全上のご注意	8
使用上のご注意	12
据え付け状態の確認	12
ふたの開閉をする	13
チャイルドロックを設定する	13

お洗濯の前に

洗濯物の確認と準備	14
洗濯も風脱水もできないもの	14
風脱水ができないもの	14
洗濯物の準備	15
洗濯物の量と重さの目安	16
洗濯物の片寄りを防ぐ	17
洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた	18
洗濯物の量の計測と水量表示	18
洗剤・漂白剤・柔軟剤量	18
洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた	20
石けん(天然油脂)の入れかた	22
洗濯のりの使いかた	23
使用できる洗濯のり	23

使いかた

運転コースの選びかた	24
洗濯する／洗濯～風脱水する	25
使いかた	25
毛布コースで洗濯する	26
洗濯物の準備	26
毛布洗いネットの使いかた	26
毛布の入れかた	26
毛布の取り出しかた	26
使いかた	27
毛布の干しかた	27
風脱水する	28
使いかた	28
おしゃれ着コースで洗濯する	29
洗濯物の準備	29
使いかた	29
予約運転をする	30
使いかた	31
お好みの設定で運転する	32
洗い・すすぎ・脱水の設定変更と個別運転	32
運転内容と変更できる内容	34
便利な使いかた	36
お湯を使う(風呂水など)	36
終了音の設定	37
洗濯液を2度使う	37

お手入れ

お手入れをする	38
糸くずフィルター	38
柔軟剤投入口(柔軟剤投入ケース)	39
吸気口	39
給水口	40
液体洗剤・漂白剤投入口	40
排水口・排水トラップ	41
本体	41
洗濯・脱水槽	41
洗濯・脱水槽のお手入れをする(槽洗浄・槽乾燥コース)	42
コースの使い分け	42
槽洗浄コース	42
槽乾燥コース	42
使いかた	43

お困りのとき

お知らせ表示されたとき	44
こんな音がしたとき	45
本体各部	45
① 本体・振動・音	45
② 給水口・給水	46
③ 排水口・排水	46
④ ふた	46
⑤ 洗濯・脱水槽	46
本体の運転動作	47
⑥ 運転動作	47
⑦ 運転時間	47

操作パネルの表示内容	47
⑧ 水量表示	47
⑨ 運転中表示	48
洗濯物の仕上がりが気になる	48
⑩ 衣類に洗剤残りが残る(白いものが残る)	48
⑪ 糸くずが気になる	48
⑫ 汚れ落ちがわるい	48
⑬ 黒ずみが気になる	48
⑭ 黄ばみが気になる	49
⑮ 色移りや変色が気になる	49
⑯ 洗濯物がゴワゴワする	49
⑰ においがする	49
⑱ 風脱水したのに乾きがわるい	49

アフターサービスなど

もしものとき	50
給水ホース内の水抜きをするとき (引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき)	50
もしも凍結したとき	50
別売り部品	51
仕様	51
保証とアフターサービス	52
マイページ(日立の家電品お客様サポート)のご案内	55
保証書	56

ご使用の前に

お洗濯の前に

使いかた

お手入れ

お困りのとき

アフターサービスなど

各部のなまえ・付属品

使用する前に、本体各部のなまえと付属品を確認してください。
主な説明のあるページを→(P.〇〇)カッコで示しています。

洗濯・脱水槽

洗濯・脱水槽を回すと液体の音がしますが、これは脱水時のバランスを取るために、バランスリングの中に入っている液体の音です。洗濯・脱水槽に水が残っている訳ではありません。

バランスリング

柔軟剤投入口
(柔軟剤投入ケース)
→(P.20、39)

糸くずフィルター
→(P.38)

かくはん翼

アース線→(据付説明書 P.15)

電源コード

電源プラグ

ふた取っ手

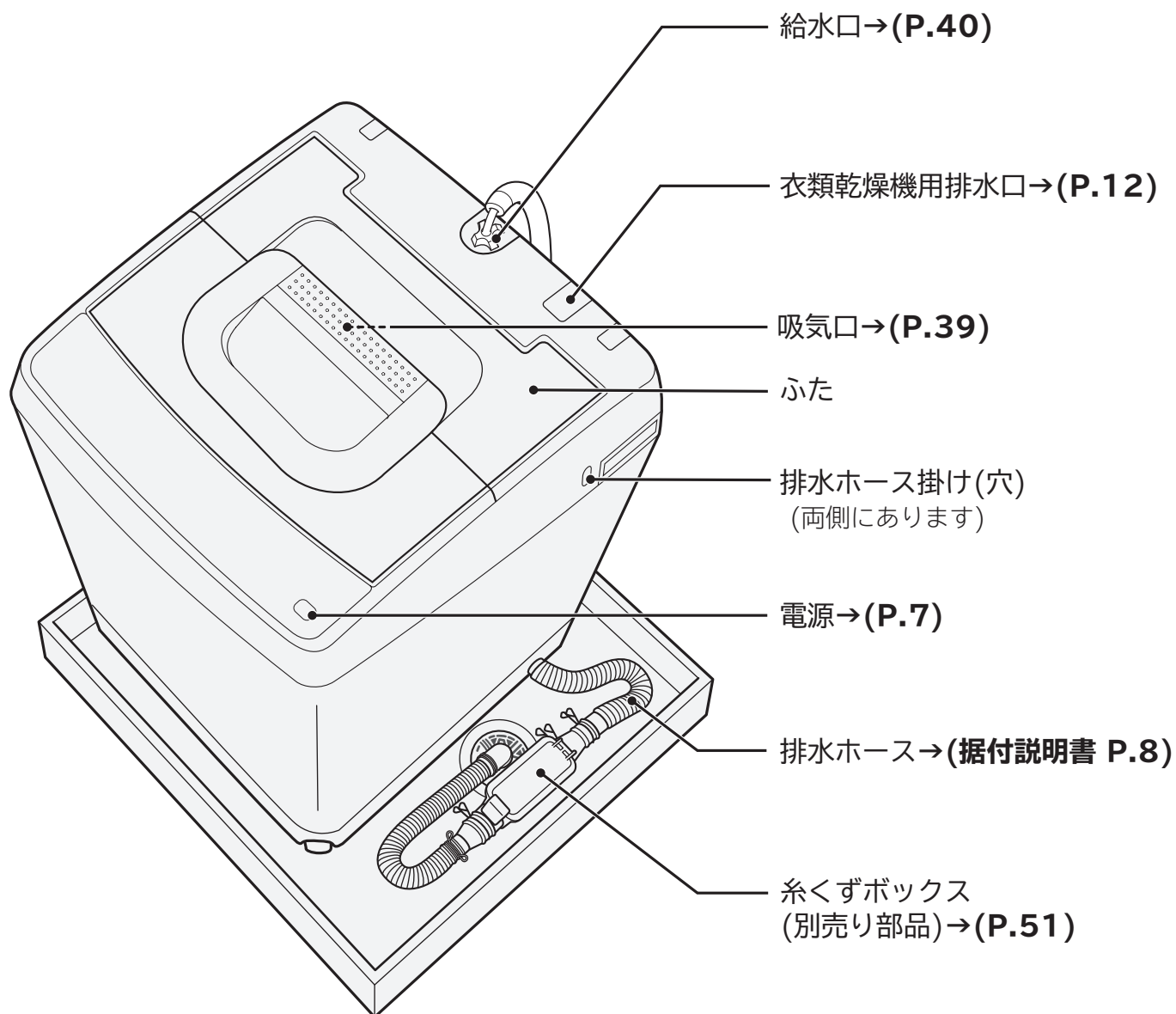
液体洗剤・漂白剤
投入口→(P.20、40)

操作パネル→(P.6)

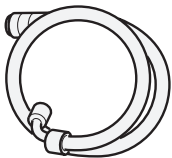
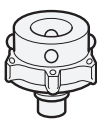
チャイルドロック→(P.13)

柔軟剤投入口(柔軟剤投入ケース)
→(P.20、39)

調節脚→(据付説明書 P.11)
(前右側の脚の高さを調節できます)

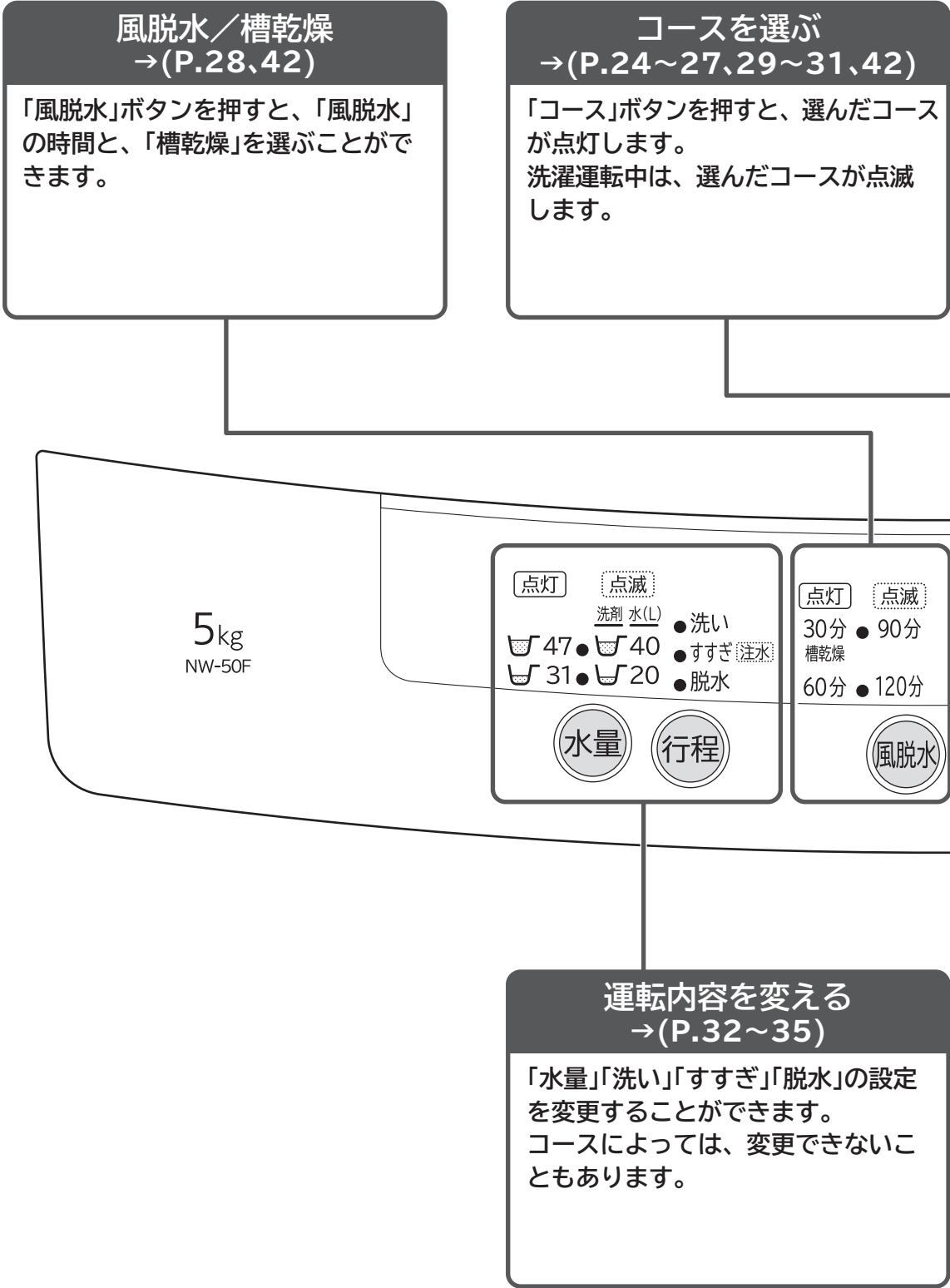


付属品

水栓(蛇口)との接続に 使用します		本体の水平を 確認するときに 使用します
給水ホース (約0.8m) →(据付説明書 P.13)	ワンタッチつぎて →(据付説明書 P.5)	水準器 ※水準器は洗濯機専用 です。 →(据付説明書 P.11)
		
(1本)	(1個)	(1個)

操作パネルのはたらき

説明のため、すべての表示を点灯状態にしているのので、実際の表示とは異なります。



■ボタンを長押しすることで設定を変更することができます。

行程	チャイルドロックの設定・解除ができます。	→(P.13)	スタート一時停止	終了音を設定・解除することができます。	→(P.37)
----	----------------------	---------	----------	---------------------	---------

ふたのロック表示 →(P.13)

(ランプの点滅)

ふたがロックされているときや、
チャイルドロックが設定されているとき
にランプが点滅します。

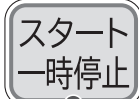
電源

電源の切・入を行います。

電源を入れたあと、20分以内に
スタートをしないと、自動で電源が
切れます。

●標準 ●毛布
●すすぎ1回 ●おしゅれ着
●おいそぎ ●予約9時間後
●洗・風脱 ●槽洗浄

コース



HITACHI

SLIM & COMPACT



スタート／一時停止

スタートや一時停止を行います。
一時停止状態で1時間以上放置すると、
自動で電源が切れます。

表示について

設定や行程をランプの点灯と
点滅でお知らせします。

消灯表示 ○

点灯表示 ●

点滅表示 

操作パネルの 点字表記 について

目の不自由なかたのために操作パネルの位置がわかる「点字シール」(操作パネルに
はり付けます)をご用意しています。ご希望のかたは、「商品情報やお取り扱いに
関するご相談窓口」へお問い合わせください。→(P.54)

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかなますのでご了承ください。

絵表示の例	
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。
 「警告や注意を促す」内容のものです。	
 してはいけない「禁止」内容のものです。	
 実行していただく「指示」内容のものです。	

警告

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために（感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ）



禁止

- 電源コードを傷つけない
 - ・傷つけない、加工しない ・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
 - ・加重をかけない、挟み込まない
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
- タコ足配線をしない、延長コードを使用しない



指示

- 定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
- 電源プラグを根元まで差し込む
- 電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る



プラグを抜く

- 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
- お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く



アース線接続

- アース線を取り付ける
アース線を取り付けないと、漏電のとき感電することがあります。

本体の故障や事故を防ぐために（感電・けが・電気部品の損傷・本体の転倒のおそれ）



水場禁止

- 浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない
感電または電気部品を傷めるおそれがあります。



禁止

- キャスター付きの設置台や、不安定な場所に据え付けない
運転中の振動で本体が移動したり、転倒したりしてけがをするおそれがあります。

警告

運転時の爆発や火災を防ぐために（油などの酸化熱による自然発火や引火のおそれ）



禁止

- 引火物や火気を洗濯・脱水槽に入れない、近づけない
 - ・灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどおよびそれらの付着した洗濯物
 - ・ローソク、蚊取り線香、たばこなど
- 揮発性溶剤(灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど)やカセイソーダを使って洗濯しない
それらの付着したものを洗濯しない

感電、漏電、ショートによる火災を防ぐために（感電・発火・火災のおそれ）



プラグを抜く

- 本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
修理は販売店などにご相談ください。
- 本体にはり付けているシール類ははがさない



水ぬれ禁止

- 本体各部や電源プラグに水や洗剤などをかけない

子どもの事故を防ぐために（洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをするおそれ、窒息のおそれ）



禁止

- 子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない、本体の近くに台を置かない
洗濯・脱水槽内に閉じ込められて、窒息、感電、けが、おぼれるおそれがあります。
チャイルドロックの設定ができます。→ (P.13)
- 操作に不慣れな方だけでは使わせない
- 液体洗剤や柔軟剤は、子どもの手の届かないところ、見えないところに置く
液体洗剤や柔軟剤を誤飲するおそれがあります。



指示

- 付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置く
ポリ袋を頭にかぶると、窒息するおそれがあります。

洗濯・脱水槽への巻き込まれを防ぐために（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがのおそれ）



接触禁止

- 洗濯・脱水槽が完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない
洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。
特に子どもには注意してください。

洗濯運転時の発泡を防ぐために（泡が多量に発生し、本体の故障・水漏れ・感電のおそれ）



指示

- 洗剤は表示に従って適量を入れる → (P.18)

安全上のご注意（必ずお守りください） つづき

⚠ 注意

洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷を防ぐために

（洗濯・脱水槽のバランスがくずれて異常振動が発生し、洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷、洗濯物の飛び出し、本体の転倒のおそれ）

異常振動が発生したときは安全装置が作動しますが、洗濯・脱水槽が高速で回転しているため、すぐに回転は止まりません。



禁止

●防水性の衣類・繊維製品は、洗濯・脱水槽には絶対に入れない

防水性の衣類は水を通さないため、洗濯・脱水をしても衣類の中に水がたまっています。そのまま脱水をすると、たまった水が急激に移動し、回転バランスがくずれて異常振動が発生することがあります。

異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。

また、本体が転倒することもあります。

— 防水性・繊維製品の例 —

釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、おむつかバー、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど

（洗濯物に洗える表示があっても洗わないでください）

●毛布などの大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯・脱水槽には絶対に入れない

折りたたんだ衣類の固まりが、脱水中に突然バランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。

また、本体が転倒することもあります。



●一辺が 40cm 以上の洗濯ネットを使用しない 異常振動や洗濯物の片寄りの原因になります。

けがを防ぐために



禁止

●ロックされた状態のふたを無理に開けない



接触禁止

●運転中は本体の下に手足などを入れない

●ふたは取っ手を持って開閉する、無理に開閉をしない、本体に手を置いてふたの開閉をしない
無理な力で開閉すると、ふたや部品の破損につながる可能性があります。

本体に手を置いてふたの開閉をすると、ふたと本体の間に指や手を挟むおそれがあります。

水漏れを防ぐために



指示

●洗濯前は水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないことを確認する

水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎでの緩みやさびの発生により水漏れに至るおそれがあります。

●使用しないときは、水栓(蛇口)を閉じておく

●据え付け直後や移設直後など、水栓(蛇口)の接続を変えたあとは、まず水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないことを確認する

⚠ 注意

洗濯物の損傷を防ぐために



指示

- 洗濯物のひもなどは結び、ファスナーやボタンを閉めてから洗濯・脱水槽に入れる

けがや水漏れ、本体の損傷や故障を防ぐために



禁止

- 50℃以上のお湯を使用しない
- 給湯器とつながない
瞬間的に50℃以上の温水が給水され、部品の故障や水漏れにより思わぬ被害を招くことがあります。
- ふたが開いた状態で無理な力や衝撃を加えない
部品にひびが入ったり、割れる場合があります。
- 本体の上にのぼったり、重いものを置いたりしない
- 運転途中で洗濯物を追加する場合は、入れ過ぎない
洗濯物の量が自動計測されたあとに衣類を追加すると、適切な水量とならないため、水漏れや本体の故障の原因になります。
また、洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損、洗濯時間が長くなったり、洗いムラが発生したりするおそれがあります。
- 直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けない
本体内部の温度が異常に高くなり、外観が変形・変色して、本体が故障するおそれがあります。



指示

- 別売り部品の洗濯機用防水パン・洗濯機用トレイ→(P.51)を設置する
床面を結露による水滴から守るときに、洗濯機用防水パン・洗濯機用トレイをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。
- 断水後や、一度給水ホースを外して再度取り付けた場合、長期間使用しなかった場合は、水栓(蛇口)を閉めて「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押してからゆっくり水栓(蛇口)を開く
給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧によって本体が破損し、水漏れやけがのおそれがあります。

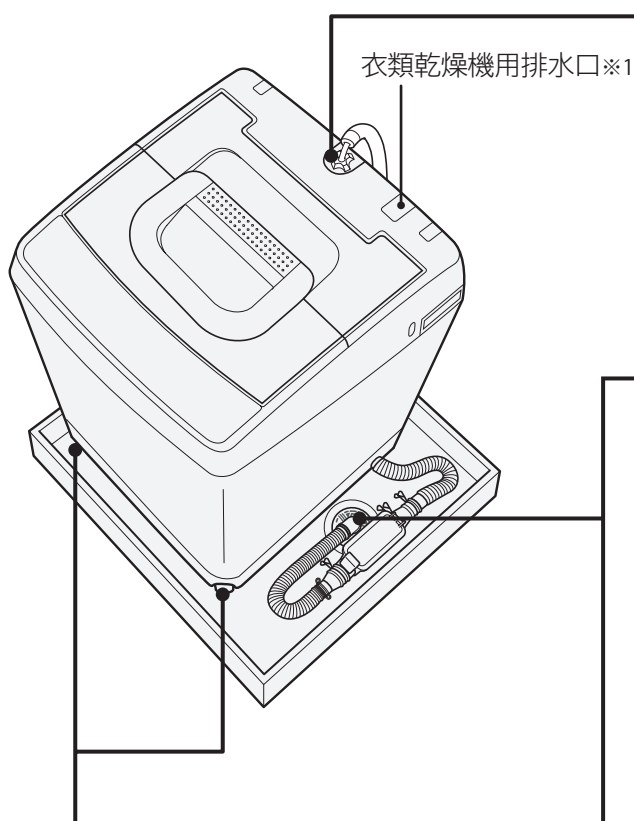
使用上のご注意

よくお読みのうえ、正しくお使いください

- 運転中は電源プラグを抜かない（本体の故障のおそれ）
「一時停止」ボタンを押し、電源を切り電源プラグを抜いてください。
- 本体にテレビやラジオを近づけない（画面が乱れたり、雑音が入ったりするおそれ）
運転中の本体の近くでは、ノイズが入り放送が正常に受信できないことがあります。
ラジオやテレビは、運転中の本体から離れたコンセントに差し込み、2m以上離してください。
- 洗濯物を入れ過ぎない
（洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損のおそれ）
（洗濯時間が長くなったり、洗いムラが発生したりするおそれ）
- 風脱水運転中は十分に換気をする

据え付け状態の確認

次のような問題を防ぐため、確認をしてください。
解決しないときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



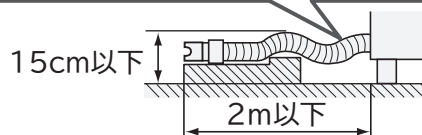
水漏れを防ぐ

- 水栓(蛇口)の接続は、付属品のワンタッチつぎて →(P.5)を使用していますか？
- 接続部分に緩みやぐらつきはありませんか？
- 給水ホースのつぎてが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを回す。ユニオンナットをさらに、約90°回し、しっかり締め付ける →(据付説明書 P.13)
- 水栓(蛇口)にさびの発生はありませんか？

排水異常を防ぐ

- 排水ホースの高さは、15cm以下になっていますか？
- 排水ホースが、排水口に取り付けられていますか？
→(据付説明書 P.9)

敷居を越えるときは、高さ15cm以下、排水ホースの全長を2m以下に



脱水時の停止・異常音・振動を防ぐ

- 本体が水平に設置されていますか？
水準器の気泡が円の中に入るように、調節脚や脚キャップで本体の水平を調節してください。
→(据付説明書 P.11)

※1：衣類乾燥機の排水ホースを接続する場合は、衣類乾燥機の取扱説明書をご覧ください。

排水時の停止を防ぐ

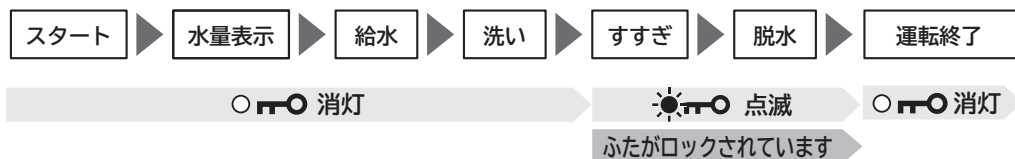
(お知らせ表示^{行程}の「すすぎ」と^{コース}の全点滅)

- 排水口が掃除できるように設置されていますか？
排水口・排水トラップは月1回を目安にお手入れをしてください。→(P.41)
- 排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、掃除しにくい場合は、別売り部品の糸くずボックス →(P.51)をお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

ふたの開閉をする

安全のため、運転中はふたが自動でロックされています。

運転の流れと
ふたのロック
表示



洗濯運転中にふたを開ける手順

1

を押し、運転を一時停止する

- 洗濯・脱水槽の回転が止まると、○が消灯します。
- 無理にふたを開けると、ふたが壊れるおそれがあります。

2

ふたを閉め、 を押し、運転を再開する

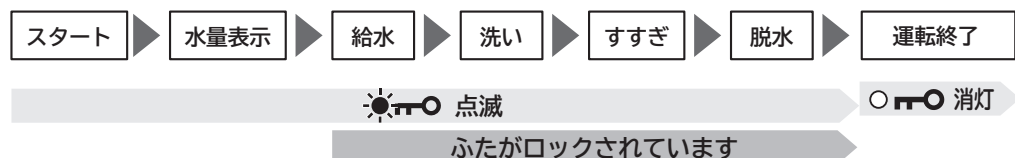
が点滅してふたがロックされ、運転が始まります。

- しっかりふたを閉めないで、ふたがロックされず、危険防止のため運転が始まりません。
- すすぎの運転中に一時停止をした場合、運転再開後、次の脱水運転が始まる前にふたがロックされます。

チャイルドロックを設定する

子どもが勝手にふたを開けたり、誤って洗濯・脱水槽の中に落ちないようにするため、給水から強制的にふたをロックして、開けられないようにすることができます。

運転の流れと
ふたのロック
表示



設定／解除の手順

1

ふたを閉め、 を押し、電源を入れる

2

設定するとき

を「ピッピッピッピー」と音が鳴るまで
3秒以上押す

が点滅し、チャイルドロックが設定されます。

解除するとき

を「ピッピッピッピッ」と音が鳴るまで
3秒以上押す

○が消灯し、チャイルドロックが解除されます。

洗濯を始める前に設定してください。
洗濯が終了すると、設定が解除されます。
洗濯のたびに設定してください。
ふたが開かないとき→(P.46)

洗濯物の確認と準備

洗濯物に付いている取扱絵表示や注意表示を確認してください。

洗濯も風脱水もできないもの

洗濯物の縮み、形くずれ、変色、風合い劣化などの原因になります。

また、洗濯物が洗濯・脱水槽内の隙間に挟まり、洗濯物の損傷や部品破損の原因にもなります。

●次のような取扱絵表示が付いているもの

 (家庭での洗濯禁止)表示

 (石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示

 (石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる)表示

●取扱絵表示や素材表示が付いていないもの

●皮革・毛皮・羽製品、それらの装飾品付き製品

●ネクタイ、スーツ、コート

●和服、和装小物製品

●レーヨン、キュプラ、それらの混紡品

●シルク製品

●ベルベットなどのパイル地製品

●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工の製品

●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー

●強撚糸(強くよじった糸)を使用したウールやちりめんなどの製品

異常振動による本体の故障、けが、洗濯物の破れなどの原因になります。

●防水性製品 →(P.10)

洗濯物に洗える表示があっても、洗わないでください。

●玄関マット、ラグマット、敷物

・裏面にゴムが付いているもの

・厚手のもの

・毛足の長いもの

●カーペット

●座布団や枕、クッションなど

●洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)

●ペットの毛が多量に付着したもの

風脱水ができないもの

縮み、しわつき、変色、損傷、風合い劣化などの原因になります。

●ゴムやウレタンなどを使用した製品

●ウレタン(スポンジ類)の入ったぬいぐるみなど

●布団類などわたを使用した製品

●ウールなどの獣毛およびその混紡製品

●タイツ

●レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品

●濃い色のプリントもの

●次のような取扱絵表示が付いているもの

 (パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示

 (パークロロエチレンおよび石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる)表示

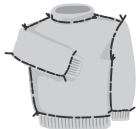
 つり干しがよい

弱くしぼる、ねじりまたはしぼり禁止の表示のあるもの

風脱水：洗濯・脱水槽の高速回転で洗濯物の水分を飛ばします。

洗濯物の準備

上手に洗濯するために、洗濯前に確認し、洗濯物の準備をしてください。

ポケットの中のものを取り出す 	硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどを取り除いてください。 洗濯物のポケットの中なども確認してください。 洗濯物の傷みや本体の故障の原因になります。
衣類のひもなどは結んで、ファスナーやボタンは閉める 	衣類のひもなどは結び、ファスナーやボタンは閉めてください。 洗濯物の絡みや傷みの原因になります。 ひもが洗濯・脱水槽内の穴に入って抜けなくなり、本体の故障の原因になります。
しみは早めに落とす (えり、そで口などの脂汚れ) 	しみやひどい汚れは早めに処理してください。 時間がたつと落ちにくくなり、黄ばみの原因になります。 洗濯前に部分洗いなどで処理しておく、より効果的です。 えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液を付けて、ブラシで一定方向にこすってください。
大きなゴミなどを取り除く 	大きなゴミ、泥や砂、髪の毛、ペットの毛は取り除いてください。 本体内部にゴミや異物が詰まり、本体の故障の原因になります。
毛玉がつきやすい衣類は裏返する 	毛玉ができやすいセーターなどは裏返してください。 洗濯物どうしの摩擦や、かくはん翼でのこすりは、洗濯物の傷みの原因になります。

洗濯物を仕分ける

色落ちや損傷などを防止するために、分けて洗濯してください。

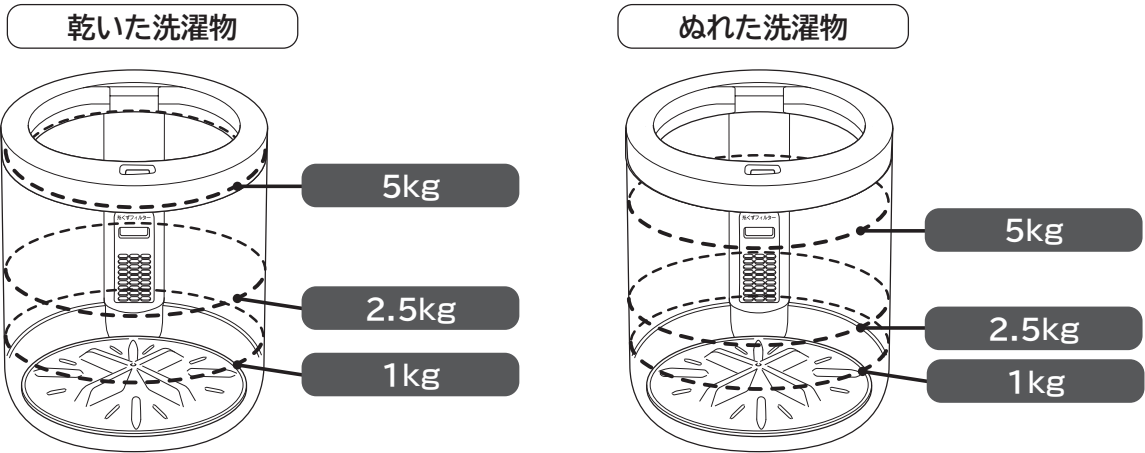
色落ちしやすい洗濯物	● 白いタオルなどに洗剤液を含ませ、洗濯物の目立たない部分に強く押し当てて、洗濯物からタオルに色移りしないことを確認してください。 色移りがあった場合は、洗濯しないでください。 ● 著しく色落ちする洗濯物は分けて、同類の洗濯物を2、3枚まとめて洗濯してください。 ● 色落ちしやすい洗濯物(スカーフ、外国製の衣類など)は、注意してください。
糸くずが気になる洗濯物	● タオル・バスタオル・フリースなどは分けて洗濯してください。 ● コーデュロイ(起毛素材)や濃い色の洗濯物、ストッキングなどは、市販の糸くず防止用洗濯ネットに入れて洗濯してください。
デリケートな洗濯物 ・小物類	● 洗濯物の注意表示に洗濯ネット使用の記載があるものや、レースの付いた洗濯物、ブラウス、ストッキング、タイツなどは、洗濯物の損傷を防ぐためにも、洗濯ネットに入れて洗濯してください。 ● ワイヤ入りブラジャーは、ブラジャー専用ネットに入れて洗濯してください。

洗濯物の確認と準備 つづき

洗濯物の量と重さの目安

運転コースによって、洗濯できる量と重さが異なります。→(P.24)
量と重さの目安に従って、洗濯物を洗濯・脱水槽に入れてください。

洗濯時の乾いた洗濯物と脱水後のぬれた洗濯物の量と重さの目安



衣類別の重さの目安

衣類の重さを確認するための目安です。衣類の素材や大きさにより実際の重さは異なります。

	肌着類	シャツ・ズボン類	タオル・寝具類
50g	ブリーフ 靴下		
100g	肌着		タオル
200g		ワイシャツ	
300g			バスタオル
400g		パンツ スカート	パジャマ上下
500g		シーツ	

衣類の重さの目安は、一般社団法人 日本電機工業会・自主基準によるものです。

洗濯物の片寄りを防ぐ

脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、洗濯物を傷めたり、本体の故障の原因になるため、自動で片寄りを修正する動作を行います。そのとき、運転時間が長くなります。

自動で修正できない場合は、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。洗濯物の片寄りを防ぐには、次のようなことに注意してください。

洗濯物を洗濯・脱水槽の中に入れるときは

- 重いものが片寄らないように、洗濯物は洗濯・脱水槽の外側に均一に広げて入れてください。



- 洗濯物を詰め込み過ぎないでください。

洗濯ネットを使うときは

- 洗濯ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。片寄りが起こりやすくなるだけでなく、汚れ落ちもわるくなります。2、3個の洗濯ネットに分けて入れてください。
- 一辺が40cm以上の洗濯ネットを使用しないでください。洗濯物が片寄り、異常振動の原因になります。
- ※洗濯ネットのファスナーは閉めてください。閉めないで使用すると洗濯物を傷める場合があります。

大物(シーツ、タオルケット)や厚手の洗濯物(ジーンズ、柔道着、つなぎなど)、洗濯ネットに入れた洗濯物は

- 大物の洗濯物や厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は水を含みやすく重くなります。一つだけで洗濯しないでください。ほかの洗濯物を2、3枚追加して洗濯してください。



- 先に洗濯・脱水槽に入れてから、ほかの洗濯物を入れてください。

洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた

洗濯物の量の計測と水量表示

洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた水量が表示されます。

1 洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる

2 電源を入れ、運転するコースを選び、

スタート
一時停止

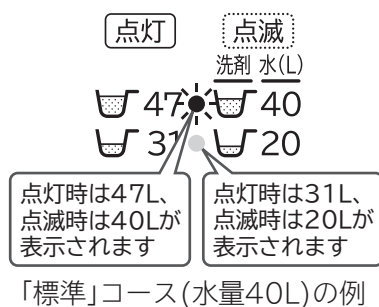
を押す

かくはん翼が回転し、洗濯物の量が自動計測されます。

あらかじめ水が入っている場合や、「おいそぎ」「毛布」「おしゃれ着」コースを設定した場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

洗濯物の量に合わせた水量が表示されます。

「おいそぎ」「毛布」「おしゃれ着」コースは、標準設定の水量が表示されます。→(P.34)



3 右表を参考に洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れ、ふたを閉める

洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた→(P.20)

ふたが開いていると給水されません。
ふたを閉めると給水が始まります。

洗剤・漂白剤・柔軟剤量

【表の見かた】
例えば、水量 30L に対する使用量が 25mL の洗剤をお使いの場合、水量が 40L と表示されたときは、33mL を投入口に入れてください。

水量 (自動設定)	洗剤量 (目安)表示
40L	

合成洗剤
液体
25mL
アタック
トップ
アップ
アタック
アップ

33mL

水量が表示される

※水量はコースによって、手動で設定してください。

洗濯容量 (目安)	水量 (自動設定)	洗剤量 (目安)表示
～5kg	47L	
2～3kg	40L	
1～2kg	31L	
～1kg	20L	

洗剤および洗濯物の量

- 洗剤を入れ過ぎると泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。
- 香りの強い柔軟剤を使用すると、洗濯終了後に洗濯・脱水槽のにおいが気になる場合があります。
- 表の洗濯物の量は、JIS（日本産業規格）で規定された布地を洗濯した場合のものです。
洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯物の量が変わります。
洗濯物の量は、最大洗濯容量の7～8割が適当です。

使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤の容器に記載されている使用量の目安を確認し、操作パネルに表示された水量表示に従って、適量を投入口に入れてください。

(2020年12月現在)

合成洗剤							石けん		漂白剤		柔軟剤			
粉末		液体		液体中性	粉末	液体	濃縮	普通	濃縮		普通			
水量30Lに対する洗剤使用量(容器の記載を確認)														
18g	30g	36g	10mL	25mL	30mL	40mL	36g	40mL	20mL	40mL	7mL	10mL	16mL	20mL
アタック	トッププラチナクリア	アリエール	アタックZERO ナノックス	アタック トップクリア アリキッド	アリエール	エマール アクロン	そよ風	洗濯用液体複合石けん	ブライト STORNG EXパワー	ワイドハイター 手間なし ワイドハイター	ふんわりソフラン	ソフラン ハミングファイン	レノア	ハミング
28 _g	47 _g	56 _g	16 _{mL}	39 _{mL}	47 _{mL}	63 _{mL}	56 _g	63 _{mL}	31 _{mL}	63 _{mL}	11 _{mL}	16 _{mL}	25 _{mL}	31 _{mL}
24 _g	40 _g	48 _g	13 _{mL}	33 _{mL}	40 _{mL}	53 _{mL}	48 _g	53 _{mL}	27 _{mL}	53 _{mL}	9 _{mL}	13 _{mL}	21 _{mL}	27 _{mL}
19 _g	31 _g	37 _g	10 _{mL}	26 _{mL}	31 _{mL}	41 _{mL}	37 _g	41 _{mL}	21 _{mL}	41 _{mL}	7 _{mL}	10 _{mL}	17 _{mL}	21 _{mL}
12 _g	20 _g	24 _g	7 _{mL}	17 _{mL}	20 _{mL}	27 _{mL}	24 _g	27 _{mL}	13 _{mL}	27 _{mL}	5 _{mL}	7 _{mL}	11 _{mL}	13 _{mL}

●使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤・石けんの容器に記載されている「使用量の目安」や「使用上の注意」をよくご覧になり、正しく使用してください。

また、洗剤の種類により、スプーンまたはキャップ1杯の洗剤量が異なります。

記載されていない場合は、洗剤メーカーにお問い合わせください。

●ドラム式洗濯乾燥機と使用量が異なりますので、注意してください。

重曹は使用しないでください。故障の原因になります。

洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた つづき

洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた

粉末洗剤は洗濯・脱水槽に入れてください。

液体洗剤と漂白剤は、同じ投入口です。

柔軟剤は、液体洗剤・漂白剤と投入口が異なりますので注意してください。

指定の投入口に正しく入れてください。

水量表示に従って入れてください。



液体洗剤・漂白剤投入口

洗剤残りを防ぐために

- 液体洗剤・漂白剤投入口がぬれている場合は、乾いた布でふいてから、洗剤を入れてください。
- 固まっている洗剤は、砕いてから入れてください。
- 粘性の高い液体洗剤は、水で薄めてから投入口に流し込んでください。

- 漂白剤は、洗濯物に直接かけないでください。変色、布破れの原因になります。

柔軟剤投入口

- 最大(31mL)量を超えないように入れてください。(柔軟剤がすぐに流れ出して洗濯物の変色や黒ずみの原因になります)
- ゼリー状になったもの、粘性の高いもの、固まったものや分離した柔軟剤は使用しないでください。(溶け残りにより水漏れの原因になります)
- 柔軟剤を入れたまま長時間放置しないでください。(柔軟剤が固まってしまう場合があります)

- 香りの強い柔軟剤、粘性の高いものは、においが気になる場合があります。次のことをお試しください。
 - ・柔軟剤の使用量を減らしてください。
 - ・香りの強い柔軟剤以外をお試しください。
 - ・「槽洗浄」コースで、洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.42)

洗濯・脱水槽に直接入れて使えるもの

- 粉末合成洗剤
- ジェルボール型洗剤
- タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤
- ビーズ仕上剤

- 粉末石けん(天然油脂)→(P.22)
- 洗濯のり→(P.23)

洗濯機では使えないもの

- 重曹
故障の原因になります。



各ページをご参照ください。

漂白剤の種類

使用量および使いかたは、漂白剤の表示に従ってください。

酸化型	酸素系 (ワイドハイター、カラーブライトなど)	色・柄物に使えます。 粉末の場合は、毛・絹には使えません。
	塩素系(ハイターなど)	色・柄物に使えません。
還元型 (ハイドロハイター)	水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、ワイシャツのえりの 芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。	

使用する前に漂白剤の容器に記載してある注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。

洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れる手順

- 操作パネルに水量が表示されたあと

＜粉末洗剤＞
洗濯・脱水槽に入れる

洗剤は、洗濯物の外周に均一に回し入れてください。

＜液体洗剤＞
液体洗剤・漂白剤投入口に入れる
- (必要に応じて)
漂白剤を液体洗剤・漂白剤投入口に入れる
- (必要に応じて)
柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる(最大31mL)

黒ずみ・黄ばみの原因

- ・洗剤が少な過ぎたり、入れ過ぎたりすると、汚れ落ちがわるくなります。
- ・柔軟剤を入れ過ぎると、洗濯運転を繰り返すごとに柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなります。

黒ずみ・黄ばみを直したいときは、下記をお試ください。

- ・3倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。
- ・白物は塩素系漂白剤または還元型漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。

【ご注意】

洗濯物を傷める場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや取扱絵表示などを確認してください。
状態によっては完全に直せない場合があります。

洗剤・漂白剤・柔軟剤の使いかた つづき

石けん(天然油脂)の入れかた

天然粉末石けんや複合石けんなどの石けん(天然油脂)は、次の方法でよく溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。

バケツなどで溶かす

- 1 バケツなどに、約30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する
- 2 ぬるま湯に石けん(天然油脂)を少しずつ入れながら、十分に溶かす
石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かします。

- 3 洗濯物を入れ、コースを選ぶ
- 4  を押し、運転する
- 5 溶かした石けん液を、洗濯・脱水槽に直接入れ、運転を続ける


洗濯・脱水槽で直接溶かす

- 1  を押し、電源を入れ、 を押し、「標準」コースを選ぶ
- 2  を押し、水量「31L」、「洗いのみ」を設定する→(P.32、33)
- 3  を押し、運転する
- 4 給水後、かくはんが始まったら、 を押し、運転を一時停止する
- 5 石けん(天然油脂)を洗濯・脱水槽に入れ、 を押し、運転を再開する
- 6 運転終了後、洗濯物を入れ、コースを選ぶ
- 7  を押し、運転する
洗いのとき、あらかじめ水が入っているので、水量が多めになります。

次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

●「予約9時間後」コースのとき

洗濯・脱水槽で固まるおそれがあります。

●「毛布」「おしゃれ着」コースのとき

これらのコースでは、つけおき洗いをを行うため、洗剤かすが付着しやすくなり黒ずみや黄ばみの原因になります。

- 使用量が多過ぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けんかすが洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
- 液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まるおそれがあります。
- 石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを十分に行ってください。すすぎが十分でないと、黄ばみやにおいの原因になることがあります。
- 石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1か月に一度を目安に日立純正洗濯槽クリーナーを使い、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.42)
- 石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかすの発生を抑えることができます。
- 合成洗剤のみの場合は、「洗濯・脱水槽で直接溶かす」に記載の方法で運転しないでください。泡による弊害が起こる場合があります。

洗濯のりの使いかた

脱水運転終了後の洗濯物に、のり付けするときの手順を説明します。

使用できる洗濯のり

使用できる洗濯のりは、化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAc)と表示されているものに限りです。

上記以外の洗濯のりは、故障の原因になります。使用する前に成分表示を確認してください。

成分表にPVA(ポリビニルアルコール)と記載のある洗濯のりは使用しないでください。

十分なのり付けができない場合や本体の故障の原因になることがあります。

のり付け運転の手順

のりを溶かす	1	を押し、電源を入れ、 を押し、「標準」コースを選ぶ
	2	を押し、水量「31L」、「洗いのみ」を設定する→(P.32、33)
	3	を押し、運転する
	4	給水後、かくはんが始まったら、 を押し、一時停止する
	5	洗濯・脱水槽に洗濯のりを直接入れ、 を押し、運転を再開する 運転終了後、洗濯のりが溶けたことを確認します。
のり付けをする	6	のり付けする洗濯物(1kg以下)を入れる ぬれた洗濯物の量と重さの目安→(P.16)
	7	を押し、電源を入れ、 を押し、「標準」コースを選ぶ
	8	を押し、「水量」、「洗い」、「脱水」を設定する→(P.32、33) 水量は洗濯物の量に応じて設定してください。
	9	を押し、運転する
	10	運転終了後、洗濯物を取り出す

短い時間ですすぎたいときに

洗濯・脱水槽をすすぐ	11	を押し、電源を入れ、 を押し、「標準」コースを選ぶ 洗剤、洗濯物はいれないでください。
	12	を押し、「47L」を設定する
	13	を押し、運転する

念入りにすすぎたいときに

11

 切/入

を押し、電源を入れ、 コース を押し、

「槽洗浄」コースを選ぶ→(P.42)

洗剤、洗濯物はいれないでください。

12

 スタート
一時停止

を押し、運転する

運転コースの選びかた

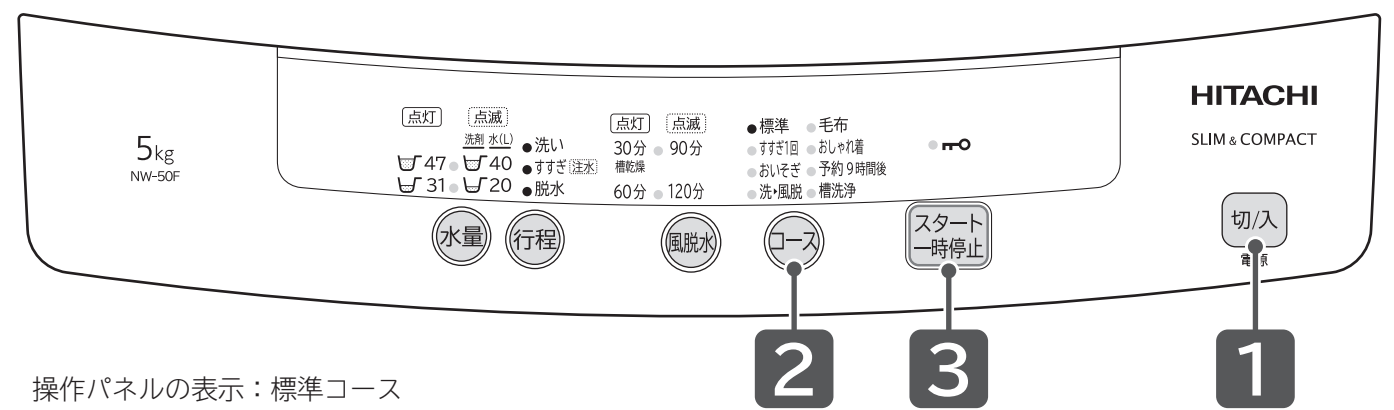
こんなときに (洗濯物の種類)	コース	洗濯容量 (最大)	所要時間	おすすめ洗剤 →(P.19) (風脱水、槽乾燥は除く)
普段の洗濯物に ・パジャマ ・肌着など 	標準	5kg	所要時間の 目安 →(P.35)	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
すすぎ1回の専用洗剤 で洗濯したいものに ・ワイシャツ ・パジャマなど 	すすぎ1回	5kg		すすぎ1回 専用洗剤
軽い汚れを短時間で 洗濯したいときに ・パジャマ ・肌着など 	おいそぎ	2.5kg		(すすぎ1回用) 液体合成洗剤
普段の洗濯物を、 洗濯・風脱水したいときに ・普段の洗濯物 	洗▶風脱	5kg		粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
毛布のお洗濯に ・アクリル毛布など 	毛布 →(P.26)	2.4kg		液体合成洗剤 または 液体中性洗剤 ※
 表示のある衣類の お洗濯に ・スカート ・セーターなど 	おしゃれ着 →(P.29)	1kg		おしゃれ着用 液体中性洗剤 (毛・絹用)
出かけている間や、 夜間のお洗濯に 	予約9時間後 →(P.30)	5kg		粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
少量の洗濯物の仕上げや、 熱に弱い素材(化繊)の 洗濯物を風脱水するとき ・ランジェリーなど 	風脱水 →(P.28)	化繊: 1kg	30分 60分 90分 120分	—
洗濯・脱水槽の汚れや においが気になるときに ・洗濯物はいれなくて ください。 	槽洗浄 →(P.42)	—	11時間	日立純正洗濯槽 クリーナー または 衣類用塩素系漂白剤
洗濯・脱水槽を乾かし たいときに ・洗濯物はいれなくて ください。 	槽乾燥 →(P.42)	—	30分	—

※使用できない洗剤もあります。

洗濯する／洗濯～風脱水する

洗濯を行うときの手順です。好みのコースを選ぶことができます。

使いかた



操作パネルの表示：標準コース

準備	水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	コース を押し、コースを選ぶ 押すごとにコースが選べます。 「水量」「洗い」「すすぎ」「脱水」を変更するときは→(P.33～35)
3	スタート一時停止 を押す 洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。 洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合や、「おいそぎ」「毛布」「おしやれ着」コースは自動計測されません。
4	水量表示に従って、 洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)
5	運転終了後、洗濯物を取り出し、 糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

**注意**

**異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.10)**

- 防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。
- 毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。
- 一辺が40cm以上の洗濯ネットを使用しないでください。
異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

運転コースの選びかた
洗濯する／洗濯～風脱水する

毛布コースで洗濯する

毛布など大物の洗濯物を洗うコースです。

洗うときは、別売り部品の毛布洗いネット(MO-F40)をご使用ください。→(P.51)

毛布洗いネットを使用しないで洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損するおそれがあります。

その場合は、保証の対象外になります。

(洗濯物の損傷費用はお客様負担となり、部品の修理は有料となります)

洗濯物の準備

「毛布」コース以外で運転すると、毛布を傷める場合があります。

洗濯できる素材	化繊(ポリエステル、アクリル)または綿
取扱絵表示	 (液温40℃を限度とし、手洗いができる) 表示
サイズ	幅140cm×長さ210cm以下
容量	2.4kg以下
おすすめ洗剤	液体合成洗剤または液体中性洗剤 使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤または部分洗い用洗剤を塗布して、汚れを落としてください。

洗濯できない素材	●羊毛(ウール)やカシミア素材のもの ●電気毛布 洗濯できる電気毛布は、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。	
----------	---	--

運転動作

洗い

洗いと休止を2回繰り返しながら洗います。

かくはん(約7分)→休止(約6分)

すすぎ(ためすすぎ)

排水・脱水し、給水後かくはんします。

排水・脱水

排水して脱水します。

毛布洗いネットの使いかた

運転できる容量：1.5～2.4kg

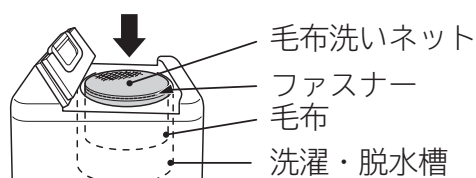


運転できる容量：1.5kg未満

折らずに、毛布の角から「毛布洗いネット」に少しずつ均等に入れてください。

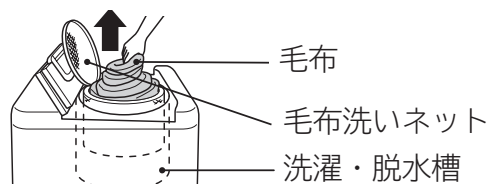
毛布の入れかた

毛布洗いネットのファスナーを上にして洗濯・脱水槽に入れてください。

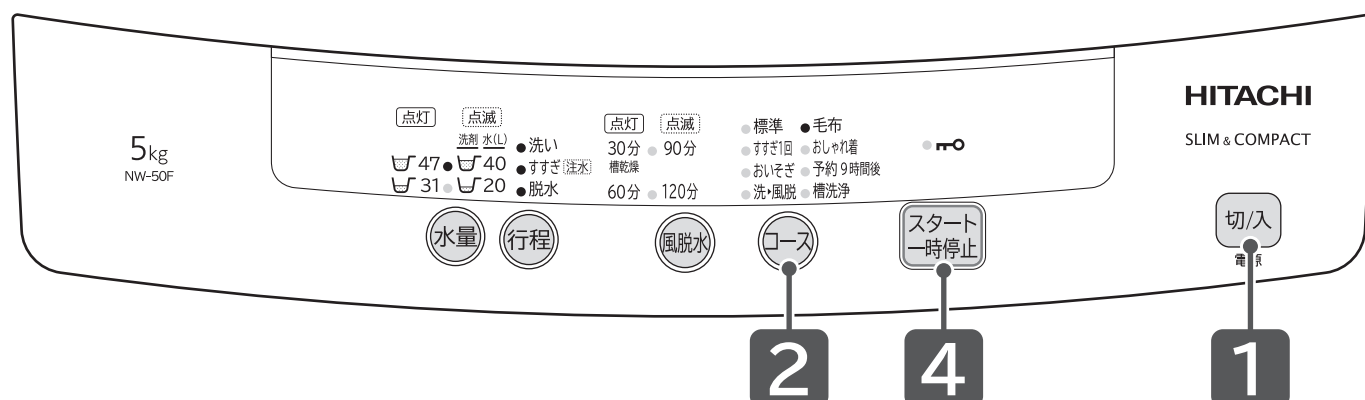


毛布の取り出しかた

毛布洗いネットのファスナーを開け、毛布の中央部を引き上げ毛布だけ先に取り出します。



使いかた



準備 水栓(蛇口)を開け、毛布洗いネットに入れた毛布を入れる→(P.26)

1 **切/入** を押し、電源を入れる

2 **コース** を押し、「毛布」コースを選ぶ
「水量」を変更するときは→(P.33、34)

3 液体洗剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)

4 **スタート一時停止** を押す

洗濯物の量は、自動計測されません。

5 運転終了後、毛布と毛布洗いネットを取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

毛布コースで洗濯する

毛布の干しかた

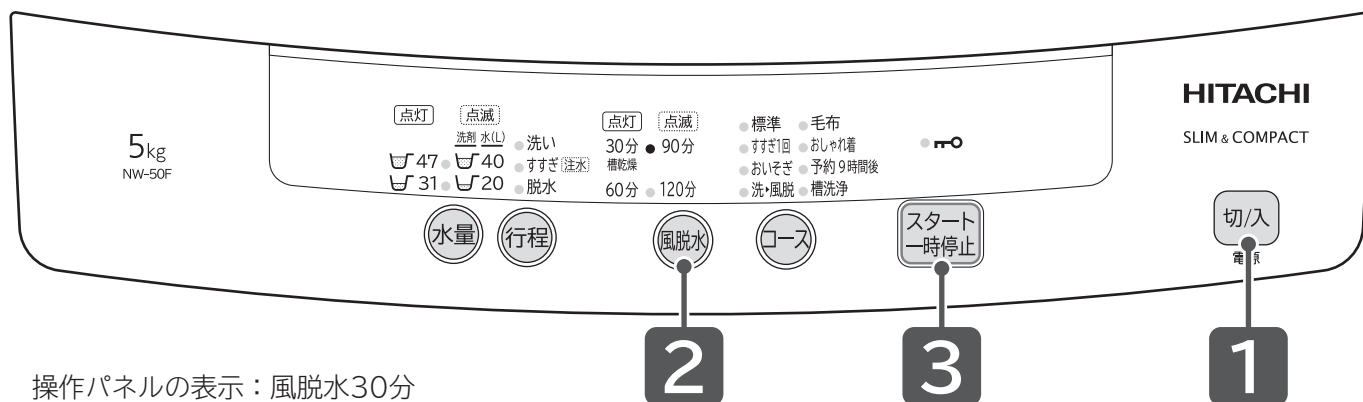
風通しのよいところで自然乾燥させます。

- 湿っているうちにブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。
- 時々裏返すと乾きやすくなります。

風脱水する

風脱水のみを行うときの手順です。洗濯は行いません。

使いかた



操作パネルの表示：風脱水30分

準備

洗濯物を1枚ずつ広げ、片寄らないように入れる→(P.14~17)
洗濯物の量と重さの目安→(P.16)

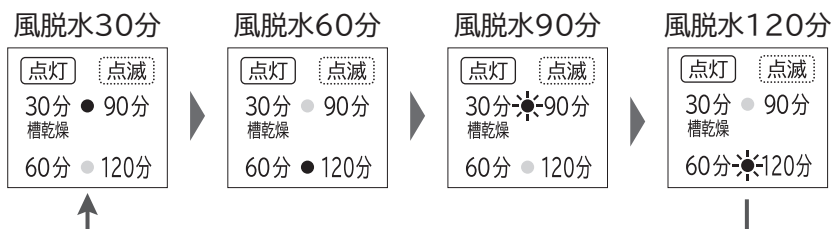
1

切/入 を押し、電源を入れる

2

風脱水 を押し、30/60/90/120分から時間を選ぶ

押すごとに時間の表示が切り替わります。



洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合は排水してから運転してください。→(P.32、33)

3

ふたを閉め、スタート一時停止 を押し

4

運転終了後、洗濯物を取り出す

⚠ 注意



禁止

異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.10)

- 防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。
- 毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。
- 一辺が40cm以上の洗濯ネットを使用しないでください。
異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

おしゃれ着コースで洗濯する

 ⑤ 表示の衣類を洗うコースです。
「おしゃれ着」コース以外で運転すると、洗濯物を傷める場合があります。

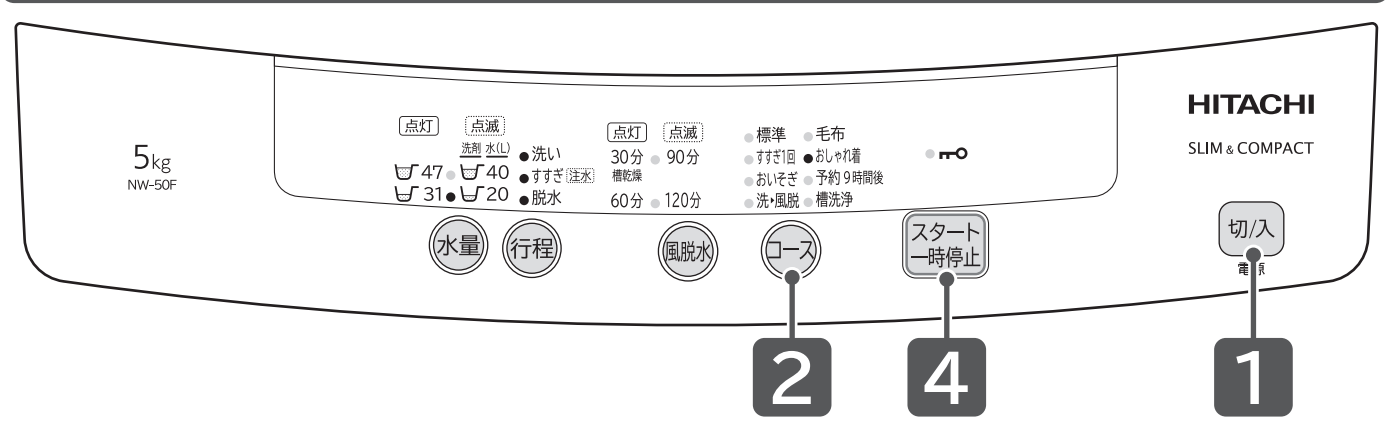
洗濯物の準備

洗濯できる 取扱絵表示	●  (液温は40℃を限度とし、手洗いができる)表示 ● ⑤ ⑤ (パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示 上記の取扱絵表示があっても、洗えないものがあります。→(P.14)		
容量	1kg以下	おすすめ洗剤	おしゃれ着用 液体中性洗剤(毛・絹用)

液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

洗濯できない 取扱絵表示	❌ (家庭での洗濯禁止)表示のもの ⑤ ⑤ (石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示	×
-----------------	--	---

使いかた



準備	水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる
1	 を押し、電源を入れる
2	 を押し、「おしゃれ着」コースを選ぶ 「水量」を変更するときは→(P.33、34)
3	液体洗剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)
4	 を押す 洗濯物の量は、自動計測されません。
5	運転終了後、洗濯物を取り出し、 糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

「おしゃれ着」コースは、洗い時につけおきをする行程があるため、洗濯・脱水槽の動作が休止する時間帯があります。

お湯やお風呂の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

風脱水する
おしゃれ着コースで洗濯する

予約運転をする

運転終了予定時間を「9時間後」に予約することができます。
出かけている間や、夜間に運転させたいときなどに便利です。
運転内容は「標準」コースと同じです。

こんなときには

予約内容の確認： **行程** を押す

(押している間、予約運転の内容が表示されます)

予約の取り消し： **切/入** を押し、電源を切る

(電源プラグを抜いたとき、停電したときは、予約運転は取り消されます)

予約の変更： **切/入** を押し、電源を切り、初めからやり直す

衣類の追加：電源を切らずに、洗濯物を入れる

(予約中の洗濯物の追加は、少なめにしてください。洗濯物を入れ過ぎると汚れ落ちがわるくなる原因になります)

- 洗濯物の量や布質、給水量、水温、気温、排水条件により運転終了予定時間が変わることがあります。
- 予約運転するときは、色移りしやすい洗濯物は一緒に洗濯しないでください。
- 洗濯物のしわを防ぐため、運転終了後は洗濯物を早めに取り出し干してください。
洗濯物を入れたままにしておくと、においの原因になります。
- 予約設定後に設定内容を変更して運転する場合は、一度洗濯・脱水槽内の水を排水してから運転してください。

洗剤の入れかた

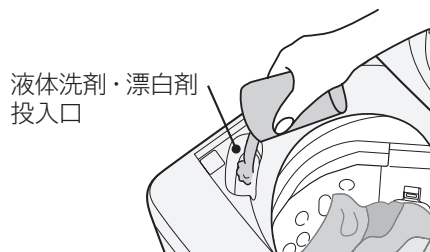
粉末合成洗剤

白物のハンカチなどに包み、洗剤がこぼれないように洗濯・脱水槽の中央付近に押し込んでください。



液体合成洗剤

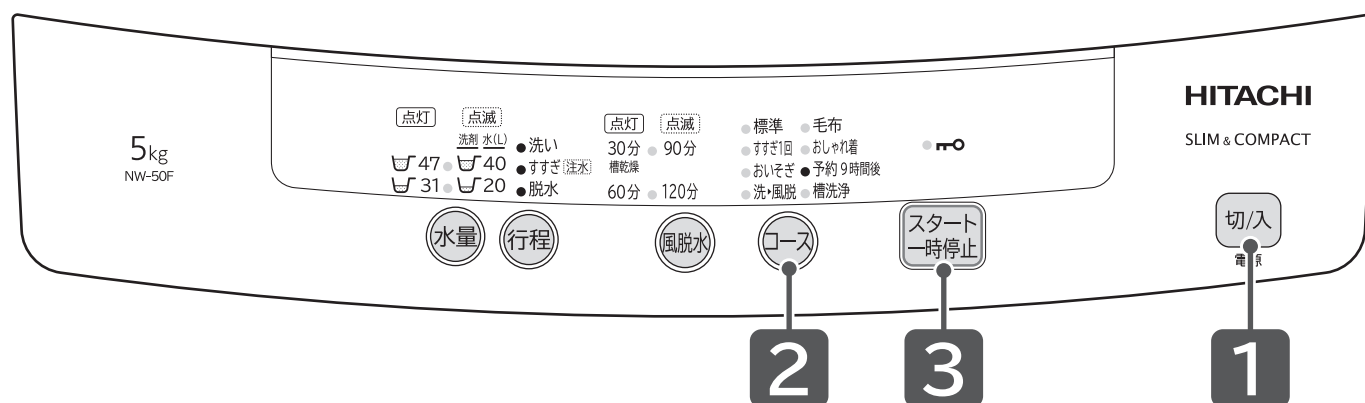
2倍にうすめて、投入口に入れてください。



お願い ジェルボール型洗剤は使用しないでください。

洗濯・脱水槽などに水分が残っているとジェルボールのフィルムが溶け、洗剤液が直接洗濯物に触れる可能性があり、長時間経過するとシミになるおそれがあります。

使いかた

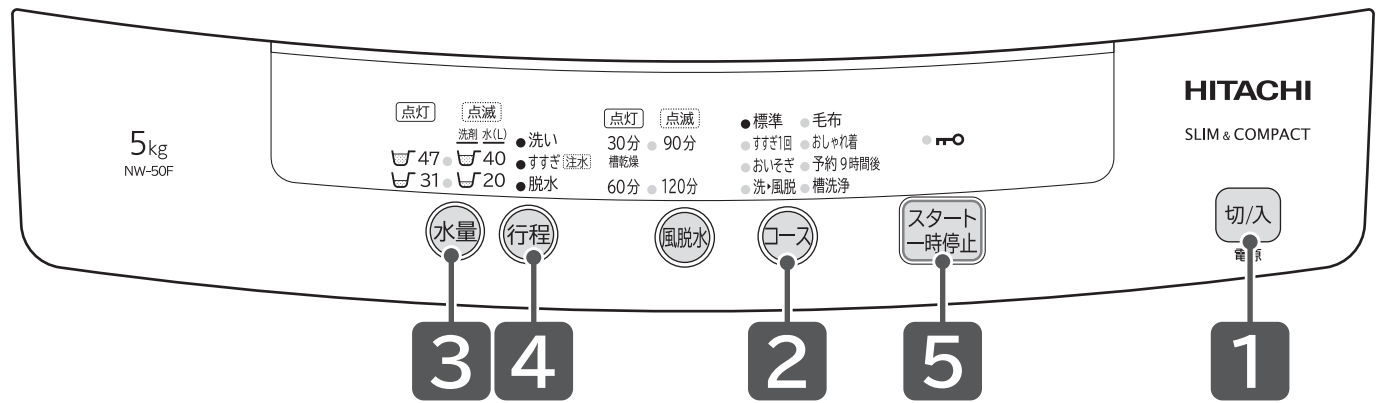


準備	水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14~17)
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	コース を押し、「予約9時間後」コースを選ぶ 「水量」「すすぎ」を変更するときは→(P.33、34)
3	スタート一時停止 を押す 洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。 洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合、洗濯物の量は自動計測されません。
4	水量表示に従って、 洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18~21) 運転内容を表示したあと、「予約9時間後」コース以外の表示は消灯します。 予約運転が始まると消灯していた運転内容の表示が点灯し、「予約9時間後」コースが点滅します。
5	運転終了後、洗濯物を取り出し、 糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

お好みの設定で運転する

洗い・すすぎ・脱水の設定変更と個別運転

洗い・すすぎ・脱水のみを設定したり、それぞれを組み合わせで運転することができます。
設定内容は記憶されません。コースによっては設定を変更できないこともあります。→(P.34)
ここでは、「標準」コースを例に説明します。

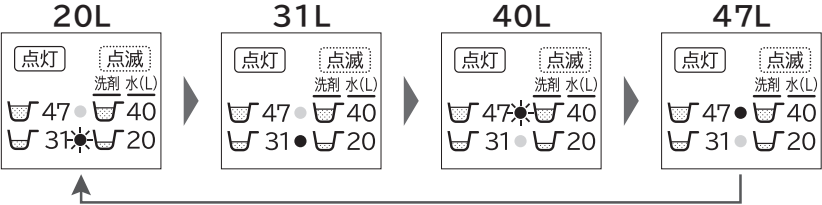


運転内容の設定	準備	1	2	3
洗い→注水すすぎ→脱水	水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる	ふたを閉め、 切/入 を押し、電源を入れる	コース を押し、「標準」コースを選ぶ	水量 を押し、お好みの水量を選ぶ 設定がないときは、自動で決まります。 (洗い設定があるときのみ)
洗いのみ				
水道水をためる				
洗い→すすぎ				
洗い→注水すすぎ				
脱水のみ				
排水のみ				
すすぎ→脱水				
注水すすぎ→脱水				
洗い→脱水				

「標準」コース以外で個別運転をする場合も同じ操作をします。

■水量の設定を変更する

「水量」ボタンを押すごとに、設定が切り替わります。



洗いやすすぎ中に水を足したいときは、「水量」ボタンを押します。押している間給水します。
(47L以上は給水しません)

■洗い・すすぎ・脱水の設定を変更する

「行程」ボタンを押すごとに、「洗い」「すすぎ」「脱水」が切り替わります。

4		行程表示			5	備考
		洗い ●	すすぎ ●	脱水 ●		
行程 を押し、 お好みの 運転内容を 設定する	1回押す	●	☀ (注水すすぎ)	●	スタート 一時停止 を押す	「すすぎ」が注水すすぎになります。
	2回押す	●	○ (すすぎなし)	○		洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
	3回押す	●	● (ためすすぎ)	○		洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
	4回押す	●	☀ (注水すすぎ)	○		「すすぎ」が注水すすぎになります。 洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
	5回押す	○	○ (すすぎなし)	●		排水後、脱水します。
	6回押す	○	● (ためすすぎ)	●		すすぎの前に排水、脱水します。 その後、すすぎ、脱水をします。
	7回押す	○	☀ (注水すすぎ)	●		すすぎの前に排水、脱水します。 その後、注水すすぎ、脱水をします。
	8回押す	●	○ (すすぎなし)	●		洗いと脱水をします。

電源を入れる(または、「行程」ボタンを9回押す)と「洗い」「すすぎ」「脱水」のランプがすべて点灯します。

お好みの設定で運転する

お好みの設定で運転する つづき

運転内容と変更できる内容

 : 標準設定内容 : 切り替えできる内容

コース	水量	行程		
		洗い	すすぎ	
			1回目	2回目
標準	20～47L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L		注水すすぎ※2	注水すすぎ※2
すすぎ1回	20～47L	12分	ためすすぎ	—
	20～47L			
おいそぎ	38L（表示は40L）	6分	ためすすぎ	—
	20～47L	3※1、6分	ため、または注水すすぎ	—
洗▶風脱	20～47L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L			
毛布	47L	25分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L			
おしゃれ着	31L	6分	注水すすぎ※3	—
	20～47L			
予約9時間後	20～47L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L		注水すすぎ※2	注水すすぎ※2
槽洗浄	47L	615分	ためすすぎ	ためすすぎ
風脱水	—	—	—	

※1 洗濯物の量が約1kg以下で、水量「20L」に手動設定したときの時間になります。
※2 「注水すすぎ」のランプが点滅します。
※3 「注水すすぎ」のランプが点灯します。

所要時間の目安

所要時間の目安は、運転内容を変更した場合、実際の時間とは異なります。

- 所要時間の目安は給水時間（給水量毎分15L）、排水時間を含みます。
（上表の所要時間の目安は、水道水圧、洗濯物の量、排水条件などにより異なります）
- 所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。
- () は手動で切り替え設定したときの所要時間の目安です。

コースの内容

- 運転スタート後は、コースの切り替えや運転内容の変更はできません。
一度電源を切ってから行ってください。
- 脱水の途中で「一時停止」して、再度「スタート」した場合は、脱水を始めからやり直します。
- 給水開始から設定水位に達する間は、各ボタンの変更はできません。
- 「おいそぎ」コースで水量を「20L」に手動設定しても、洗濯物の量が約1.5kg以上の場合は、所要時間の目安が約25分になります。

行程	風脱水	所要時間の目安 (実際の時間とは異なります)	
脱水			
9分	—	52分	約(40～55分)
9分	—	42分	約(35～45分)
5分	—	25分	約(10※1～30分)
2※1、5分			
30分	—	73分	
9分	—	56分	
2分	—	23分	約(20～25分)
9分	—	52分	約(40～55分)
30分	—	67分	
—	30、60、90、120分	30、60、90、120分	

注水すすぎについて

水漏れを防ぐため、注水を途中で停止する場合があります。

便利な使いかた

お湯を使う（風呂水など）

お風呂の残り湯などを利用して洗濯することができます。

1

 を押し、電源を入れる

2

 を押す

3

水量が点滅または点灯していることを確認する



4

 を押し、電源を切る

5

洗濯・脱水槽に洗濯物と洗剤を入れる

洗剤は、洗濯物の量に応じて入れてください。→(P.16)

6

お湯(風呂水など)を入れる

- 洗濯物が完全につかるまで入れてください。
- 50℃以下のお湯をご使用ください。
- つけおき洗いをする場合は、このまま放置してください。



7

 を押し、電源を入れる

電源を入れたあと、20分以内にスタートしてください。

自動で電源が切れ、入れたお湯(風呂水など)が排水されます。→(P.7)

8

 を押し、コースを選ぶ

9

 を押し、運転する

設定の水量に達していないと、水道水が給水されます。

お湯(風呂水など)が入っていますので、水量が多めに表示されることがあります。

水量を変更する場合は→(P.33)

- 洗剤を入れ過ぎないでください。
入れ過ぎると発泡するおそれがあります。
- 入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従ってください。
色移りや変色を防ぐためです。
- お湯(風呂水など)を洗濯・脱水槽に入れる際は、洗濯機の周囲や、操作パネルにこぼさないようご注意ください。
濡れた場合は、乾いた布でふいてください。

終了音の設定

運転の終了を、音(ピーピーピー)でお知らせします。

工場出荷時は「音あり」が設定されています。設定を変更するときは

1

 を押し、電源を入れる

2

 を押し、コースを選ぶ

押すごとにコースが選べます。

「水量」「洗い」「すすぎ」「脱水」を変更するときは→(P.33～35)

3

 を3秒以上押す

受付音のあとも押し続けることで、設定が変わります。

設定完了を音でお知らせします。

設定と同時に、選んだ洗濯コースがスタートします。

音あり (工場出荷時)	「ピーピッピッピッ」 音でお知らせします
音なし	「ピーピッピッピー」 音でお知らせします

洗濯を始める前に設定してください。
洗濯が終了すると、設定が解除されます。
洗濯のたびに設定してください。

便利な使いかた

洗濯液を2度使う

汚れの少ないものと汚れの多いものを2度に分けて洗うことができます。

1

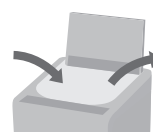
1回目は汚れの少ないものを洗う

①「洗い」のみを設定する→(P.32、33)

②「水量」を設定し、洗剤を入れる

③運転終了後、ぬれたままの洗濯物を取り出す

1回目の
洗濯物



洗いのみ



ぬれた
ままの
洗濯物

2

2回目は汚れの多いものを洗う

① 1回目の洗濯液を利用して、お好みの
コースを設定する→(P.34)

② 洗濯物に応じた水量を設定する

③ 洗濯終了後、洗濯物を取り出す

2回目の
洗濯物



洗い→すすぎ→脱水



3

1回目に洗い終わった洗濯物を
洗濯・脱水槽に入れる

①「すすぎ」と「脱水」を設定する→(P.32、33)

② 1回目と同じ水量を設定する

③ 洗濯終了後、洗濯物を取り出す

1回目の
ぬれた
洗濯物



すすぎ→脱水



お手入れをする

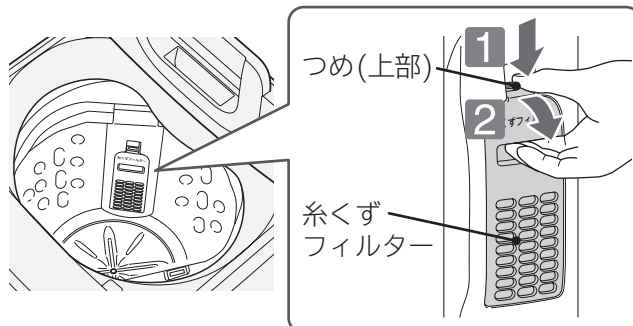
長くお使いいただくため、こまめにお手入れをしてください。
お手入れ方法について説明します。

糸くずフィルター

洗濯運転終了後、毎回お手入れしてください。

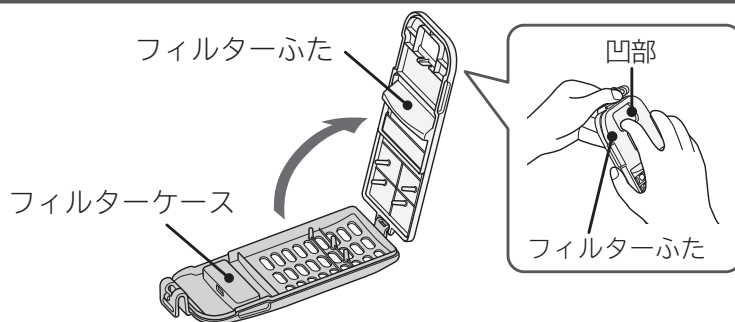
1 糸くずフィルターを取り外す

- 1 糸くずフィルターのつまめ(上部)を、押したまま
- 2 手前に倒し、取り外す



2 フィルターケースを開ける

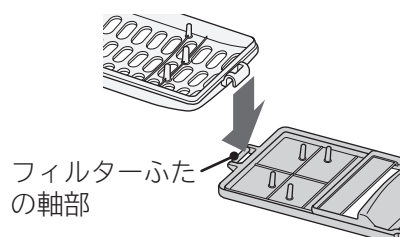
フィルターふたの凹部に指を掛け、開けてください。



3 糸くずフィルター内に付着した糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす

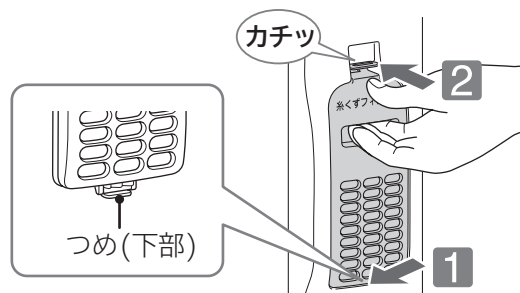
お手入れ中にふたが外れた場合

フィルターケースをフィルターふたの軸に合わせて、垂直に押し込んでください。



4 フィルターふたを閉め、糸くずフィルターを取り外した位置に取り付ける

- 1 糸くずフィルターのつまめ(下部)を、取り外した位置に入れる
 - 2 糸くずフィルターのつまめ(上部)を、「カチッ」と音がするまで押す
- 確実に取り付けないと、運転中に糸くずフィルターが外れる場合があります。



- 糸くずフィルターを取り外したあとの洗濯・脱水槽の穴に、硬貨やヘアピンなどを落とさないように注意してください。
- 糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。洗濯物を傷める場合があります。

お願い 糸くずフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店で買い求めください。→(P.51)

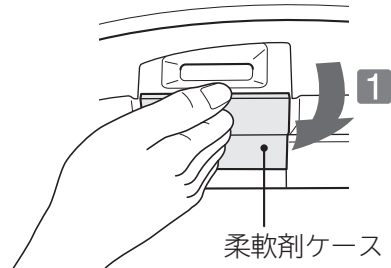
柔軟剤投入口（柔軟剤投入ケース）

柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、洗い流してください。

1

柔軟剤ケースを取り外す

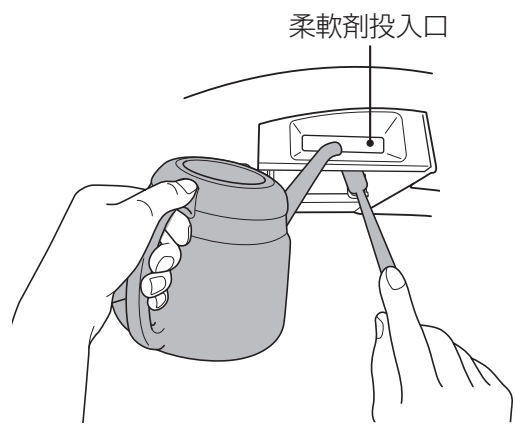
- 1 柔軟剤ケースを手前に引き出す



2

柔軟剤投入口から水を入れ、 歯ブラシなどで内部を掃除する

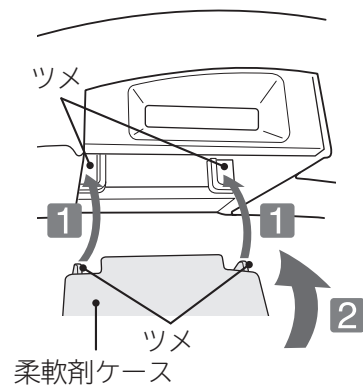
- 水があふれて、周囲に水がかからないように注意してください。
- 汚れがひどいときは、お湯(約40℃)で柔らかくしてから掃除してください。



3

水気をふき取り、柔軟剤ケースを取り外した位置に取り付ける

- 1 柔軟剤投入口のツメと、柔軟剤ケースのツメを合わせる
- 2 「カチッ」と音がするまで押し込む



お手入れをする

柔軟剤投入口のお手入れをするときは、柔軟剤ケースのお手入れを同時に行うことをおすすめします。

吸気口

ほこりが付着しているときや、汚れているときは、お手入れしてください。

1

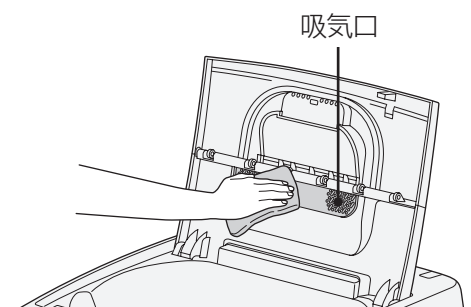
ふたを開ける

2

吸気口の汚れを柔らかい布でふき取る

3

ふたを閉める



お手入れをする つづき

給水口

水道水の給水時間が長くなったり、洗い表示と洗濯コースが全て点滅された場合、お手入れしてください。水の飛び散りを防ぐため、次の手順で行ってください。

1 水栓(蛇口)を閉める



2 給水ホース内の水を抜く

1 ふたを閉め、**切/入** を押し、電源を入れる

2 **コース** を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ
すぐに給水動作が始まるためです。

3 **スタート一時停止** を押し、約1分間運転する
給水ホース内の残水が洗濯・脱水槽に入ります。

4 **スタート一時停止** を押して、運転を一時停止する

5 **切/入** を押し、電源を切る

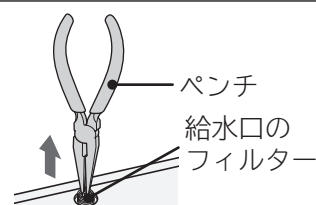
3 ユニオンナットを矢印方向に回して給水ホースを外す

給水ホース内の残水がたれる場合があります。
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。



4 給水口のフィルターに詰まったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

給水口のフィルターをペンチなどで取り外して掃除してください。
お手入れが終わったら、忘れずにフィルターを元の位置に戻してください。取り付けないと、給水弁の故障の原因になります。



5 給水ホースを給水口にに取り付ける → (据付説明書P.13)

ユニオンナットと給水口を傾きがないよう水平に合わせて、ユニオンナットをしっかり締め付けてください。つぎてを回して追い締めをしないでください。水漏れの原因になります。

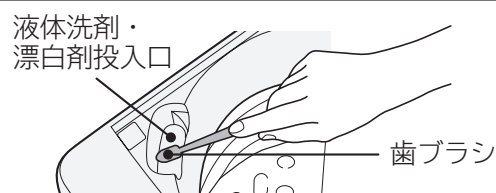
6 水栓(蛇口)を開ける



液体洗剤・漂白剤投入口

液体洗剤や漂白剤が付着しているときや汚れているときは、お手入れしてください。

歯ブラシなどで掃除してください。



排水口・排水トラップ

月に一度を目安に、お手入れをしてください。また、「すすぎ」表示と洗濯コースが全て点滅したときにもお手入れをしてください。

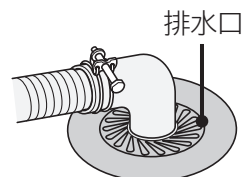
1

1 脱水運転を行い、排水されたことを確認する

「脱水」のみなどの個別運転をする →(P.32、33)

2 排水ホースを排水口から外す

排水ホース内の残水が漏れ出る場合があるため、排水口の近くにバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで残水を受けてください。



2

排水ホース内、排水口の中に残っている糸くずなどを取り除く

別売り部品の洗濯機用排水トラップのお手入れ方法については、洗濯機用排水トラップの取扱説明書をご覧ください。

3

排水ホースを排水口に差し込み、脱水運転を行い、排水されることを確認する

お手入れをしても排水できない場合や、再びすすぎ表示と洗濯コースが点滅するときは、お困りのときを確認してください。→(P.44)

- 排水口に糸くずがたまりやすい場合や、排水口が本体の真下にある、お手入れしにくい場合は、別売り部品の糸くずボックスをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。→(P.51)
- 排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、水漏れの原因になるので先端が排水配管に確実に差し込まれているかを確認してください。→(据付説明書 P.9)

本体

水滴が付着しているときや、汚れているときは、お手入れをしてください。

- 本体の水滴や汚れ、ふた取っ手などのプラスチック部品や、金属部品に洗剤や柔軟剤が付着しているときは、柔らかい布でふき取ってください。放置すると傷みやさびが発生し、破損することがあります。
- 本体各部に直接水をかけないでください。
- ふたは、柔らかい布でふき取ってください。薬品などは使用しないでください。周辺の部品がさびたり、破損したりすることがあります。
- 次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
 - ・ベンジン ・シンナー ・クレンザー(粉末タイプ) ・アルカリ性洗剤 ・ワックス

洗濯・脱水槽

汚れているときは、お手入れをしてください。洗濯・脱水槽に付いたさびは、湿った布にクリームクレンザーを含ませてふき取ってください。

- 金属たわしでこすらないでください。
- ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合はさびが発生することがあります。
 - ・ヘアピンなどの金属類が長時間接触しているとき
 - ・鉄粉や赤さびの混じった水を使用したとき
 - ・洗濯・脱水槽内に、塩素系漂白剤や洗剤、柔軟剤がついたまま長時間放置したとき
- 運転終了後に、給水経路に残った水が注水口から垂れる場合がありますので、柔らかい布でふき取ってください。
- 汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。→(P.42)
- 洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。→(P.42)
- 次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
 - ・ベンジン ・シンナー ・クレンザー(粉末タイプ) ・アルカリ性洗剤 ・ワックス

洗濯・脱水槽のお手入れをする(槽洗浄・槽乾燥コース)

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときにおすすめのコースです。

コースの使い分け

コース	こんなときに	運転時間
槽洗浄	洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき 	11時間
槽乾燥	洗濯・脱水槽を乾かしたいとき 	30分

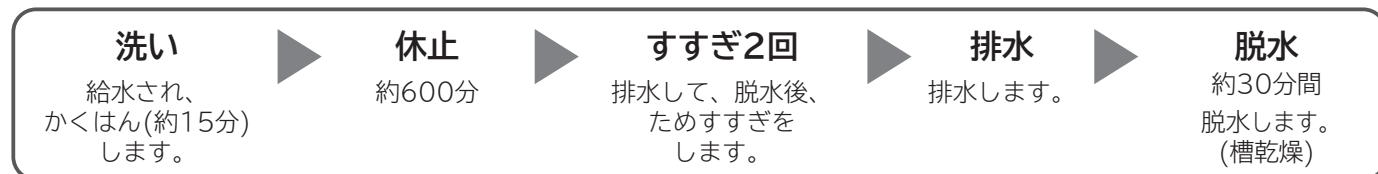
衣類は入れないで
ください



槽洗浄コース

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときに使用してください。洗濯槽クリーナーなどを使い、洗濯・脱水槽に蓄積された石けんかすや汚れを洗い落とし、約30分間脱水してにおいを取ります。

●洗濯・脱水槽の動作



一般的に長期間使用すると、石けんかすの蓄積や汚れなどにより、においが発生しやすくなります。

1～2か月に一度程度を目安に槽洗浄運転をおすすめします。洗濯物への糸くず付着が気になるときにも使用してください。この場合は、洗濯槽クリーナーは必要ありません。

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合(換気をする)

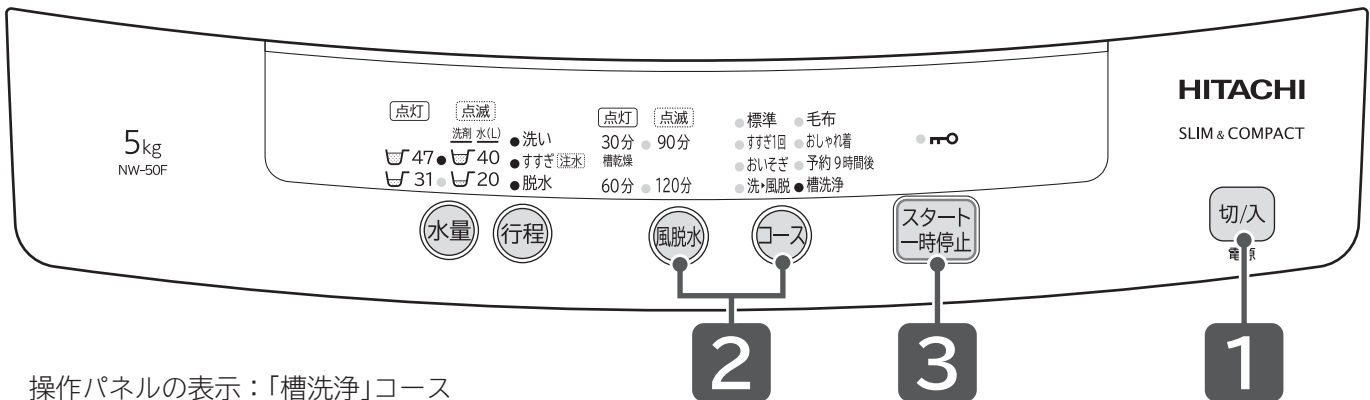
- 衣類用塩素系漂白剤(「ハイター」など)または、洗濯槽用塩素系漂白剤を使用してください。
- しっかり洗浄したいときは、洗濯機専用の洗濯槽クリーナー「防食剤配合塩素系漂白剤」(例：日立純正洗濯槽クリーナーSK-1・別売り部品)を使用してください。→(P.51)
- 洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤に記載の使用上の注意や使用量をよくご覧になり、使用してください。
- 使用量が表示されていない場合は、約500mLを使用してください。
- 酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。
泡が多量に発生し、本体の故障や水漏れの原因になります。
- 洗濯・脱水槽の中に入れるときは、本体表面に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐにふき取ってください。



槽乾燥コース

約30分間、洗濯・脱水槽を脱水運転して乾燥します。

使いかた



操作パネルの表示：「槽洗淨」コース

「槽洗淨」コースの場合

準備	水栓(蛇口)を開ける 洗濯槽クリーナーなどを使用する場合は、換気をしてください。
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	コース を押し、「槽洗淨」コースを選ぶ 槽洗淨 ●標準 ●毛布 ●すすぎ1回 ●おしやれ着 ●おいそぎ ●予約9時間後 ●洗・風脱 ●槽洗淨 日立純正洗濯槽クリーナーまたは衣類用塩素系漂白剤を直接洗濯・脱水槽に入れる。 本体各部(洗濯・脱水槽以外)に付着しないように注意してください。 付着したときは、すぐにふき取ってください。
3	ふたを閉め、 スタート一時停止 を押す
4	運転終了後、糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

「槽乾燥」コースの場合

準備	水栓(蛇口)を開ける必要はありません
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	風脱水 を押し、「槽乾燥 30分」コースを選ぶ 槽乾燥30分 ●点灯 ●点滅 30分 ● 90分 槽乾燥 60分 ● 120分 「風脱水30分」と「槽乾燥30分」は同じ表示です。 洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、排水してから運転してください。→(P.32、33)
3	ふたを閉め、 スタート一時停止 を押す

洗濯・脱水槽のお手入れをする(槽洗淨・槽乾燥コース)

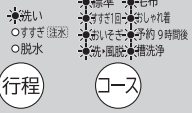
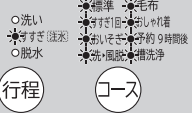
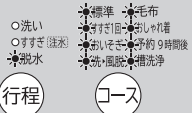
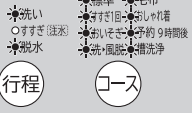
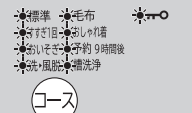
お困りのとき

お知らせ表示されたとき

運転の途中で停止した場合は、表示の点滅とブザーでお知らせします。

下の表の「直しかた」に従って運転をしてください。

お知らせ表示されたまま12時間以上放置すると、自動で電源が切れます。

お知らせ表示と内容	直しかた
 給水されません	 スタート 一時停止 を押して 一時停止 ●水栓(蛇口)を開けてください。 ●給水口のフィルターのお手入れをしてください。→(P.40) ●断水していませんか。 ●水道や給水ホースが凍結していませんか。→(P.50)  スタート 一時停止 を押して 運転開始
 排水されません	 スタート 一時停止 を押して 一時停止 洗濯・脱水槽および排水ホース内に残水がある場合があります。脱水運転を行い、排水されたことを確認後、以下を行ってください。 ●排水口、排水トラップ、排水ホースのお手入れをしてください。→(P.41) ●排水ホースを正しく取り付けてください。 →(据付説明書 P.9) ・つぶれたり、凍結していませんか。 ・排水ホースを倒していませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・途中15cm以上高くなっていませんか。 ●延長用ホースを付けている場合、排水ホースの長さを2m以下にしてください。 ●水が入ったまま「風脱水」コースを運転していませんか。洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、排水してから運転してください。  スタート 一時停止 を押して 運転開始
 脱水されません	 スタート 一時停止 を押して 一時停止 ●洗濯物の片寄りを直してください。→(P.17) 洗濯物が片寄らないように、洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。 ●大物の洗濯物や厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は水を含みやすく重くなります。また、フリースなど水を含みにくい洗濯物は、一つだけでは洗濯しないください。ほかの洗濯物を2、3枚追加してください。 ●水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで本体の水平を調節してください。→(据付説明書 P.11) 確認後  スタート 一時停止 を押して 運転開始
 ふたが開いています	ふたを閉めてください。 洗濯・脱水槽が回転するときは、危険防止のため、ふたが開かないようにふたがロックされます。 →(P.13) ふたを閉めると 運転再開
 ふたがロックされません ふたのロックが解除されません	 スタート 一時停止 を押して 一時停止 ふたを閉めてください。 確認後  スタート 一時停止 を押して 運転開始

次のような場合は使用を中止し、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

- 上記のお知らせ表示：「直しかた」を確認しても、繰り返し表示される
 - 上記以外のお知らせ表示：電源を一度切り、再度電源を入れ直しても繰り返し表示される
- ご不明な点は「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」にご相談ください。→(P.54)

こんな音がしたとき

次のような場合に発生する音は、故障ではありません。

こんな音がしたときは		音の原因(故障ではありません)
洗いまたは すすぎを しているとき	カチャ・ カツカツ	洗い運転と、すすぎ前の脱水運転とを切り替えるときの音です。
	ブーン・ カラカラ	モーターの運転音です。
	シュー・ カラカラ	洗濯物の量を計測している音です。
脱水している とき	ブーン・ カラカラ	モーターの運転音です。 ・脱水のとき、洗濯・脱水槽が回転する速度は段階的に速くなるため、 回転する速度が上がると、音が大きくなることがあります。
	カチャ・ カチャ	脱水運転に切り替えるときの音です。
	ブーン	ブレーキの音です。

本体各部

次のようなときは、修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

こんなときは		ここを確認してください
1 本体・振動・音	本体からにおいがする	ゴム製品などのにおいがすることがありますが、使用するにつれて、においはなくなります。 気になる場合は、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.42)
		洗濯・脱水槽に石けんかすや黒カビが発生すると、においの原因になります。 ・汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。→(P.42) ・洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。→(P.42) また、ふたを開けておくことをおすすめします。 (子どもが洗濯・脱水槽の中に入らないよう注意してください)
		排水口に糸くずなどが詰まっている場合は、お手入れをしてください。→(P.41)
	表示部がくもる	お湯(風呂水など)を使用して運転すると、洗濯・脱水槽が温められ、蒸気や湿気で表示部がくもる場合があります。
	本体内部に物を落とした	床面に落ちていない場合は、使用を中止し、修理を依頼してください。→(P.54)
	運転終了後にふたの裏側や衣類を投入する周辺に水滴が付く	洗濯・脱水運転中に飛びはねた水滴が付着したものです。 気になる場合は、タオルなどで拭き取ってください。

お困りのとき つづき

こんなときは		ここを確認してください
① 本体・振動・音	振動や騒音が気になる	水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで本体の水平を調節してください。 →(据付説明書P.11)
	振動や騒音が気になる	ふたを開けて、目視できる範囲で洗濯・脱水槽の中に、硬貨やヘアピンなど異物が詰まっていないことを確認してください。 洗濯物が片寄っていないことを確認してください。 「一時停止」ボタンを押したあと、洗濯物は洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。
	給水の音が気になる	給水圧が高いと、音が大きくなる場合があります。 水栓(蛇口)を少ししばって給水量を調節してください。
② 給水口・給水	給水されない	水栓(蛇口)が開いていることを確認してください。
		給水口のフィルターにゴミが詰まっている場合は、お手入れをしてください。→(P.40)
		水道や給水ホースが凍結していないことを確認してください。→(P.50)
	給水ホースから水漏れする	水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎでの緩みやさびの発生により水漏れに至るおそれがあります。水道工事店へご相談することをおすすめします。
	(バケツなどで水を入れるとき)水がたまらない	電源が入っていることを確認してください。 電源を入れると排水口の弁が閉まり、洗濯・脱水槽に水をためることができます。
③ 排水口・排水	水が抜ける	「電源」ボタンまたは「スタート」ボタンを押すと、入っていた水を排水する場合があります。
	排水口の周りが泡であふれている、ぬれている	洗剤や漂白剤を入れ過ぎると、運転中に泡が多量に発生し、排水口から水が漏れたり、泡があふれたりする場合があります。 洗剤や漂白剤は、水量表示に従って適量を入れてください。→(P.18)
④ ふた	ふたが開かない	ふたのロック表示を確認してください。→(P.13) 脱水運転中に一時停止した場合は、運転が停止してもふたのロックが解除されるまでに1分程度かかる場合があります。 ○  が消灯するとふたは開けられます。
		運転の途中で電源が切れた場合は、ふたがロックされたままの状態での運転が終了します。 電源を入れ、約1分後に ○  が消灯するとふたは開けられます。
⑤ 洗濯・脱水槽	初めて使用するのに、洗濯・脱水槽や排水ホースがぬれている	工場出荷時に動作確認のため使用した残水や結露した水分が、洗濯・脱水槽や排水ホースに残っている場合があります。
	洗濯・脱水槽が変色する	水や洗剤に含まれる成分が洗濯・脱水槽の表面に付着して酸化し、変色する場合があります。気になる場合は、ステンレス専用クリーナーでふき取ってください。

本体の運転動作

こんなときは		ここを確認してください
6 運転動作	すすぎ運転が設定した内容と違う	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡の発生を抑える「注水すすぎ」に変更されます。洗剤は水量表示に従って適量を入れてください。→(P.18)
		洗濯物の片寄りが起こると、洗濯物をほぐすため「注水すすぎ」に変更されます。
	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	脱水時に洗濯物の片寄りが起こると「脱水」と全コースが点滅し、運転が途中で停止することがあります。洗濯物の片寄りを直してください。→(P.44)
		最終脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、洗濯物の片寄りを直すため、すすぎ運転に戻ります。
	風脱水ができない	洗濯・脱水槽に水が入っていると運転しません。 洗濯・脱水槽内の水を排水してください。→(P.32、33)
7 運転時間	洗い運転中に洗濯・脱水槽が停止している(運転が停止している)	運転中は「洗い」のランプが点灯しています。点灯していることを確認してください。 「毛布」「おしゃれ着」「槽洗淨」コースの場合は、洗い時につけおきをする行程があるため、洗濯・脱水槽の動作が休止する時間帯があり、運転が停止しているように感じることがあります。
	運転途中で止まっている	テレビやラジオなど、ノイズが出る機器が本体の側にあると電源が切れる場合があります。一度電源プラグを抜き差ししたあと、再度運転してください。
	運転時間が長い	脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなります。 「注水すすぎ」が設定されていると、「ためすすぎ」よりも運転時間が長くなります。 「おいそぎ」コースは、運転の途中で「一時停止」ボタンを押すと、運転時間が長くなる場合があります。

操作パネルの表示内容〔点滅表示されたとき→(P.44)〕

こんなときは		ここを確認してください
8 水量表示	水量表示が自動で切り替わる	洗濯・脱水槽に、水が入っている状態でスタートすると、洗濯物の量が自動計測されないため、自動で一番高い水量になります。 洗濯・脱水槽内の水を排水してから、運転を開始してください。→(P.32、33)
	洗濯物の量が少なくても、水量表示が多めに表示される	下記の場合または気温の影響により、洗濯物の量が多めに自動計測されます。 ・湿気を多く含んでいる洗濯物 ・ぬれている洗濯物 ・厚手の洗濯物(重いため)
	洗濯物の量が多くても、水量表示が少なめに表示される	化繊、ポリエステルなどの洗濯物は軽いため、洗濯物の量が少なめに自動計測される場合があります。 気温やモーターのなじみの影響により洗濯物の量が少なめに表示される場合があります。

お困りのとき つづき

こんなときは		ここを確認してください
⑨ 運転中表示	注水すすぎに設定していないのに、「注水」すすぎになる	洗濯物の片寄りが起きた場合、ほぐし動作を行うため、「注水すすぎ」に切り替わります。

洗濯物の仕上がりが気になる

こんなときは		ここを確認してください
⑩ 衣類に洗剤残りが ある (白いものが残る)		石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。→(P.22)
		水温が低いと洗剤が溶けにくいことがあります。
		洗剤残りが気になる場合は、下記をお試しください。 ・「注水すすぎ」に設定してください。→(P.33) ・洗剤を液体洗剤に替えてお試しください。
⑪ 糸くずが気になる		色の濃い洗濯物は糸くずが目立ちやすいため、下記をお試しください。 「注水すすぎ」に設定してください。→(P.33)
		洗濯・脱水槽の内部に、たい積した固形の汚れ(糸くずなどの固まり)により、洗濯物に糸くずが付着することがあります。 「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してから洗濯することをおすすめします。 →(P.42)
		市販の糸くず防止用洗濯ネットを使用して洗濯することをおすすめします。
⑫ 汚れ落ちがわるい		洗濯物を入れ過ぎていないことを確認してください。 運転するコースにより、洗濯できる容量が異なります。→(P.24)
		洗剤は水量表示に従って適量を入れてください。→(P.18) ・洗剤が少な過ぎると、汚れ落ちがわるくなります。 ・石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。→(P.22)
		泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは前処理をしてください。
		フリースなど水を含みにくい洗濯物は浮いてしまい、洗い残しや汚れ落ちがわるくなる場合があります。洗濯物の量を減らしてください。(洗濯・脱水槽の半分程度)
⑬ 黒ずみが気になる		洗剤・柔軟剤は水量表示に従って適量を入れてください。 柔軟剤は柔軟剤投入口に入れてください。→(P.20)
		液体洗剤と柔軟剤を一緒に使用すると、柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみが目立つことがあります。洗剤を粉末洗剤に変えてお試しください。
		ぬれた洗濯物を入れたままにしないでください。 洗濯物に黒い点々がついている場合は、カビ菌が繁殖している可能性があります。
		井戸水を使用したとき、水質により異物の混入や黒カビが発生する場合があります。

こんなときは	ここを確認してください
14 黄ばみが気になる	洗剤・柔軟剤は水量表示に従って適量を入れてください。 柔軟剤は柔軟剤投入口に入れてください。→(P.20)
	黄ばみを抑えたいときは、下記をお試しください。 予備洗いをする、または「注水すすぎ」に設定してください。→(P.33)
15 色移りや変色が気になる	取扱絵表示を確認してください。 色の濃い洗濯物など色移りしやすいものは、ほかの洗濯物と分けて洗ってください。 また、長時間のつけ置きはお避けください。
	水道水に水道管のさびが含まれていないか、タオルなどで水を通して確認してください。 含まれている場合は、水道工事店へご相談ください。
16 洗濯物がゴワゴワする	タオルなどパイル素材の洗濯物は、パイルが寝てごわつきが感じられることがあります。 柔軟剤をご使用ください。
17 においがする	洗濯・脱水槽に石けんかすが蓄積したり黒カビが発生したりすると、衣類に付着するに おいの原因になります。
	香りの強い洗剤や柔軟剤、粘性の高いものを使用すると、洗濯物に香りが強く残ることが あります。
	入浴剤を入れた風呂水を使用した場合、入浴剤の香りが洗濯物に残ることがあります。
	洗濯後や生乾きで温かい洗濯物を放置すると、雑菌の繁殖によりにおいの原因になります。 運転終了後は、洗濯物を早めに取り出してください。
	排水口からのにおいを吸い込み、洗濯物にしみつくことがあります。 においが気になる場合は、別売り部品の洗濯機用排水トラップをお買い求めください。 →(P.51)
18 風脱水したのに乾きがわるい	タイマー式(定時間)のため、衣類の量・種類、気温・湿度・室内の換気状態、設置環境 によって、水分の飛ばし具合に差が出ます。足りない場合は追加運転してください。

もしものとき

給水ホース内の水抜きをするとき(引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき)

給水ホース内の水を抜く	1	排水ホースが排水口に差し込まれていることを確認し、水栓(蛇口)を閉める
	2	 を押し、電源を入れる
	3	 を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ すぐに給水動作が始まるためです。
	4	 を押し、約1分間運転する 給水ホース内の残水が洗濯・脱水槽に入ります。
	5	 を押し、運転を一時停止する
	6	 を押し、電源を切る
	7	給水ホースを外し、下に向ける 残水が垂れる場合があるため、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。
洗濯・脱水槽の水を抜く	8	 を押し、電源を入れる
	9	 を押し、「脱水のみ」を設定して運転する→(P.32、33) 洗濯・脱水槽と排水ホース内の残水が排水されます。

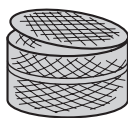
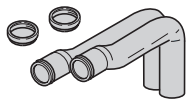
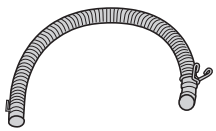
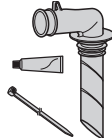
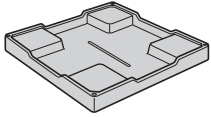
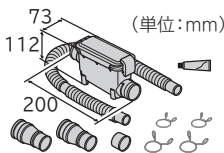
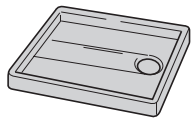
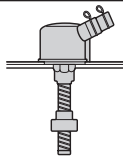
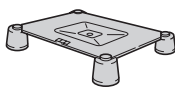
※寒冷地での使用など凍結のおそれのある場合は、本体のうしろ側(上部)を毛布などで保温してください。

もしも凍結したとき

1	給水ホースを外し、約40℃のお湯につける
2	約40℃のお湯を、洗濯・脱水槽に約5L入れ、約10分間放置する
3	給水ホースをつなぎ、水栓(蛇口)を開ける
4	 を押し、電源を入れる
5	 を押し、放置する(給水弁を解凍します) 通電時の熱で給水弁が解凍され、給水を始めます。(20分程度)
6	 を押し、電源を切る
7	次の点を確認する 電源を入れ、「脱水のみ」→(P.32、33)を設定してスタートし、排水するか ※確認できない場合は、 1 ~ 6 を始めからやり直してください。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

毛布洗いネット (MO-F40) 希望小売価格 3,080円(税込) 	直下排水L形パイプ (HO-P5) 希望小売価格 1,100円(税込) 
糸くずフィルター (1個) (部品番号 NET-KD9SV-001) 希望小売価格 660円(税込) 	延長用排水ホース (約80cm) (部品番号 KW-50K1-023) 希望小売価格 880円(税込) 
洗濯槽クリーナー (SK-1) (防食剤配合塩素系漂白剤/1500mL) (部品番号 SK-1-001) 希望小売価格 2,200円(税込) 	Lパイプ (部品番号 BD-V3700L-003) 希望小売価格 770円(税込) 
洗濯機用トレイ (YT-4) (幅640×奥行640×高さ83mm) (部品番号 YT-4-001) 希望小売価格 13,970円(税込) 	糸くずボックス (WLB-4) (排水ホース：長さ800mm) (部品番号 WLB-4-001) 希望小売価格 2,200円(税込) 
洗濯機用防水パン (TP-780) (幅780×奥行640×高さ63mm) 希望小売価格 13,200円(税込) 工事が必要です。 	洗濯機用排水トラップ (YT-T1) 希望小売価格 4,400円(税込) 工事が必要です。 
全自動専用設置台 (UP-D3) 希望小売価格 5,500円(税込) 	脚キャップ (部品番号 NW-60R5-052) 希望小売価格 330円(税込) 

上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

本体

型 式	NW-50F		
種 類	全自動電気洗濯機	消 費 電 力	390/455W (50/60Hz)
電 源	100V、50/60Hz共用	洗 濯 方 式	うず巻式
標準洗濯容量	5.0kg (乾燥状態での布質量)	水 道 水 圧	0.03~0.8MPa {0.3~8kgf/cm ² }
標準脱水容量		外 形 寸 法	幅539mm×奥行508mm×高さ965mm
標 準 水 量	47L (「標準」コース)	質 量	約26kg
標準使用水量	122L (「標準」コース)		

 このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質(鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル))の含有率がJIS C 0950：2008による基準値以下であることを示しています。(規定の除外項目を除く)

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。<https://www.hitachi-gls.co.jp/about/environment/jmoss/>

もしものとき
別売り部品
仕様

保証とアフターサービス (よくお読みください)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】（本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

	【設計上の標準使用期間】 7年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
---	--

(設計上の標準使用期間とは)

- ・ 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- ・ 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件

日本産業規格 JIS C9921-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz-60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	標準コース	
	給水圧力	0.03～0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間 及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	標準コースの時間	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回／年	
注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。			

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

長期使用製品安全表示制度 窓口(商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口)

TEL 0120-3121-11 携帯電話 050-3155-1111(有料)

■受付時間 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日、祝日) 年末年始は休ませていただきます。
《発信者番号通知のお願い》「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

保証書（裏表紙）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

また、部品共用化のため色などを変更する場合があります。

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→(P.54)にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合には、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

●車両、船舶に搭載して使用された場合。

●理容院や美容院などの業務用使用、また、寮や病院などの共同使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換(クラッチ、シール、軸受、フィルターなど)が必要になることがあります。

愛情点検



長年ご使用の洗濯機の点検を！

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- 水漏れがする。(ホース、水槽、給水栓継手)
- こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体にさわるとピリピリ電気をを感じる。
- 据付が傾いたりグラグラしている。
- 電源を入れても、動かないときがある。
- 運転が途中で止まることがある。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- その他の異常・故障がある。
- 電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。

ご使用
中 止

このような症状の
ときは、故障や事
故防止のため、電
源を切り、コンセ
ントから電源プラ
グを抜いて販売店
に点検・修理をご
相談ください。

保証とアフターサービス つづき

この製品の使いかた・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

●お電話の前に・「よくあるご質問」をホームページでご紹介しております。

・本取扱説明書の「お困りのとき」もご覧ください。

日立家電 よくあるご質問

検索

https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/q_a/

TEL 0120-3121-11

携帯電話 050-3155-1111 (有料)

(FAX) 0120-3121-34

■受付時間：9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)

年末年始は休ませていただきます。

《発信者番号通知のお願い》

「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

修理のご依頼や修理に関するご相談窓口

スマートフォンやタブレットから

①コードを読み取る



② 出張修理の Web 受付 ボタンから入力画面へ



③製品型式など必要情報を入力



コードが読み取れない場合やパソコンからは

●検索からアクセス

日立家電修理 WEB

検索

<https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/inquiry/repair/web.html>

オペレーターとの通話をご希望の場合は

TEL 0120-3121-68

携帯電話 0570-0031-68 (有料)

(FAX) 0120-3121-87

■受付時間：9:00～18:00(月～土)、9:00～17:00(日、祝日)

《発信者番号通知のお願い》

「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

●ご相談・ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

パーツショップ

●部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または下記の「パーツショップ」へご相談ください。

日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」

検索

<https://parts.hitachi-cm.com/pshop/>

マイページ(日立の家電品お客様サポート)のご案内

ご登録(無料)いただくとスマートフォンやパソコンでお持ちの家電品を一覧管理でき、サポート情報や会員限定の特典などをご利用いただけます。

■家電品の登録 ※マイページへの会員登録が必要です(無料)。

① コードを読み取る



日立の家電品
お客様サポート

② 画面の案内に従って
家電品を登録※1



※1 家電品の登録には製品型式
や製造番号が必要です。
製品本体の銘板をご確認
ください。

コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>

■マイページ会員限定のアフターサービス特典のご紹介

webにてご依頼いただくと安全点検サービス割引

ご使用の家電品を長くご利用いただくために安全点検の標準技術料が10%引になります。

※本サービスには、不具合の改善や修理作業などは含まれておりません。

※一部対象外製品がございます。

パーツショップ送料特典

付属品や別売品をパーツショップ(日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売)で
商品価格総額2,000円(税込)以上お買い上げいただくと送料が無料になります。

※代引きの場合は、代引き手数料が別途かかります。

※上記内容は予告なく変更する場合がございます。

■ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

■「使いかた動画」のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

詳しくは、マイページ(日立の家電品お客様サポート)をご覧ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいて
ください。サービスを依頼さ
れるとき、お役に立ちます。

ご購入店名

電話 () -

ご購入年月日

年 月 日

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金
(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

保証書

修理を依頼されるときは(出張修理)

「お困りのとき」→(P.44～49)に従って調べていただき、なお異常があるときはご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申し付けいただくときは、下記のことをお知らせください。

1.型式：製品本体の銘板を確認してください

2.故障の状況：できるだけ詳しく

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修性能部品の保有期間

日立全自動電気洗濯機の補修性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

日立全自動電気洗濯機 保証書 出張修理

※型式	
※お買い上げ日	年 月 日
保証期間 (お買い上げ日から)	本体：1年
※お客様	お名前 様 ご住所 〒 電話
※販売店	住所・店名 電話

※印欄に記入のない場合は無効となりますからご確認ください。記入のない場合、レシートまたはご購入を証明するものが代用となりますので、本保証書とともに大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- (イ)保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。
- (ロ)お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→(P.54)にご連絡ください。
- (ハ)この製品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書を必ずご提示ください。

- 2.ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 3.贈り物でいただいたものの修理などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には、「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→(P.54)にご相談ください。
- 4.離島または離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 5.保証期間内でも次のような場合には有料にさせていただきます。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常水質、異常電圧、異常水圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)一般家庭用以外(例えば業務用の長時間使用)に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 6.修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 7.日立全自動電気洗濯機の修理以外(洗濯物の変色または損傷など)は、本書による保証の対象外となります。
- 8.本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 9.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」→(P.54)にお問い合わせください。

●お客様にご記入いただいた保証書の写しの個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

◎日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

3-Q3353-9B
B1(C)